

東京文化戦略 2030

～芸術文化で躍動する都市東京を目指して～

【資料編】

令和4(2022)年3月

東京都

目次

1. 「東京文化ビジョン」の総括	2
2. 「東京文化戦略 2030」に関する有識者の意見	5
3. 各種調査・統計データを踏まえた現状と課題の整理	10
4. 「新文化戦略に関する都民アンケート」単純集計結果	29
5. 「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」単純集計結果	47
6. 第7期 東京芸術文化評議会 評議員名簿	60
7. 第7期 東京芸術文化評議会 文化政策部会 専門委員名簿	60
8. 第8期 東京芸術文化評議会 評議員名簿	61
9. 第8期 東京芸術文化評議会 文化政策部会 専門委員名簿	61
10. 「東京文化戦略 2030」の策定に係る文化政策部会における議論	62

<資料編について>

「東京文化戦略 2030」（以下「文化戦略」という。）に関連する図表等を資料編として別冊にまとめました。

☞ 「東京文化ビジョン」の総括や文化戦略に関する有識者の意見等も掲載しています。

☞ 文化戦略内の主なK P Iに関係する図表、文化戦略に載せている図表の詳細版を掲載しています。

☞ 「新文化戦略に関する都民アンケート」と「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」の単純集計結果も併せて掲載しています。

1. 「東京文化ビジョン」の総括

- 2015年3月、東京2020大会の開催やその先を見据えた芸術文化振興における基本指針となる「東京文化ビジョン」を策定した。本ビジョンで掲げた世界のどこにもない活力に満ち成熟した文化都市を目指し、これまでに各種施策に取り組んできた。
- 文化戦略を策定するに当たり、2021年度までの取組を振り返りながら課題を整理することで、本ビジョンを総括することとする。(以下『』内は東京文化ビジョンを実現する10の主要なプロジェクトのことをいう。)

(文化戦略1：伝統と現代が共存・融合する東京の独自性と多様性を追求し、世界発信)

- 『大規模フェスティバル(芸術祭)を展開、世界発信』について、都は、当初掲げていた都市型総合芸術祭や芸術文化の壁を越えたフェスティバル等に代わり、2016年から「東京芸術祭」を立ち上げ、大規模フェスティバルとして定着しつつある。2022年度以降は、国内外に発信する舞台芸術祭として更なる強化が必要である。また、「六本木アートナイト」や「恵比寿映像祭」を開催し、地域のフェスティバルとして定着した。
- 『子供や外国人に向けた本物の伝統芸能体験による伝統文化の継承と発信』について、都は、子供向けや外国人向けの伝統芸能体験プログラムの実施や伝統芸能公演の開催などにより、伝統文化の継承と発信に寄与できた。

(文化戦略2：多彩な文化拠点の魅力向上により、芸術文化都市東京の発信力を強化)

- 『多彩な芸術文化拠点の魅力向上と世界発信』について、東京都や民間団体が主導し、上野、池袋、六本木等で多彩な事業を展開し、芸術文化拠点としての魅力向上を図ったが、海外に向けた発信力の強化という点では2022年度以降の課題である。また、2022年度以降は、多摩・島しょも含め都内全域での文化振興施策の推進が必要である。

(文化戦略3：あらゆる人が芸術文化を享受できる社会基盤を構築)

- 『すべての子供や青少年が芸術文化に関わることができる大規模な「教育プログラム(仮称)」を展開』について、都立文化施設を拠点とした多彩な教育普及プログラムにより参加体験機会が拡充し、「とびらプロジェクト」や「ミュージック・ワークショップ」で培われたノウハウや人材が全国に波及した。また、都内区市町村でも地域の特性を生かした数多くの文化体験事業が行われた。
- 『「首都圏芸術文化施設ネットワーク(仮称)」の推進』について、「上野文化の杜新構想」や「サマーナイトミュージアム」を立ち上げるとともに、「ミュージアムぐるっとパス」を神奈川・千葉・埼玉の近隣3県へ拡大するなど、様々な芸術文化施設とのネットワークを構築した。また、都民が気軽に芸術文化を体験できる情報を集約したウェブサイト「アートカルチャー体験100」を構築した。2022年度以降は、こうした都の取組をさらに国や他自治体、民間に広げていくことが重要である。
- 『障害者アートへの支援や障害者の鑑賞・参加を促す活動の推進等、文化の面でバリアフリーな都市として認知される取組の展開』について、都は、トーキョーワンダーサイト渋谷を改修し、新た

にアールブリュット等の振興拠点として2020年2月に東京都渋谷公園通りギャラリーを開設した。また、美術館やホールでの取組を基盤に、共生社会の実現を目指し、芸術文化を通じて社会包摂と心身の健康に取り組む事業を立ち上げた。2022年度以降は、芸術文化に接触する機会の少ない層を対象に、芸術文化へのアクセシビリティを高めていくことや参加機会を増やしていくことが必要である。

- 「芸術文化による社会支援助成」について、障害者、高齢者、子供、青少年、在住外国人等の芸術体験や表現活動の機会の促進を図るなど、芸術文化の側から社会課題に取り組む活動を支援した。

(文化戦略4：新進若手を中心に多様な人材を国内外から発掘・育成、新たな創造とビジネスのチャンスを提供)

- 『若手の登竜門としての新人賞等の創設など、才能ある新進若手人材の積極的な受け入れや海外進出への支援』について、都は、トーキョーワンダーウォールを発展解消し、世界で活躍できる中堅アーティストを育成支援するための現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)」を創設した。また、都立文化施設やアーツカウンシル東京を中心とした各分野のアーティストや芸術文化関係者の育成・支援だけでなく、民間においても経済的な支援だけでなく学びの機会や育成プログラムが実施されるなど、近年、新たな育成支援の取組が増加している。2022年度以降は、アーティストの創作の場の確保や表現活動を経済的な視点からも発展させる取組が必要である。

(文化戦略5：都市外交を基軸に芸術文化交流を促進し、国際的な競争力を高める)

- 『都市外交の基軸に芸術文化を位置付けた都市間交流の拡充』について、都は、2018年にパリ市との文化交流事業「パリ東京文化タンドム」を実施するとともに、ジャポニスム2018では東京を代表するアーティストの大規模作品を上演した。また、劇場・ホールではオペラや演劇などの国際共同制作、美術館・博物館では海外との共同企画による展覧会を行うなど、東京2020大会に向けて国際交流プログラムや共同制作が進展した。

(文化戦略6：教育、福祉、地域振興等、社会や都市の課題に、芸術文化の力を活用)

- 『芸術文化の力を活用した東北の被災地支援や全国の地域づくりへの支援』について、東日本大震災以降、ヘブンアーティストの被災地公演を継続的に行うとともに、「東京アートポイント計画」の一環として、NPOを活用したアートプロジェクトを被災地で実施するなど、芸術文化の力を活用した被災地支援を行った。また、「芸術文化による社会支援助成」により、芸術文化の側から社会課題に取り組む活動を支援した。加えて、前述のとおり、美術館や博物館、ホールでの取組を基盤に、共生社会の実現を目指し、芸術文化を通じて社会包摂と心身の健康に取り組む事業を立ち上げた。2022年度以降は、芸術文化の力を活用し、健康・福祉分野などの社会課題の解決に向けた新たなアプローチを提示していく必要がある。

(文化戦略7：先端技術と芸術文化との融合により創造産業を発展させ、変革を創出)

- 都は、「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」や「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」において、先端技術を活用した取組を支援・実施したほか、都立文化施設においても東京芸術劇場でVR体験企画

等の新たな取組を行った。2022年度以降は、更にデジタルテクノロジーを活用した取組を推進する必要がある。

(文化戦略8：東京が持つ芸術文化の力で、都市力を引き出し史上最高の文化プログラムを実現)

- 『リオ大会以降に展開される文化プログラムを先導する「リーディングプロジェクト」を国内外で展開』について、都がリーディングプロジェクトとして実施した「東京キャラバン」や「TURN」では、2016年リオ大会に合わせた現地でのイベント開催及びその後2021年までの展開により、芸術文化の面から東京2020大会の気運醸成を図ることができた。また、企画公募による「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」を実施するなど、今までにないスケールで多彩な事業を展開した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、一部のプログラムは予定どおり開催できない等の課題も残ったが、コロナ禍に適応した工夫を凝らし、困難な状況下でも知恵を絞って芸術文化の魅力を発信した。
- リオデジャネイロ大会後の5年間で16万件の多彩なプログラムを実施し、3900万人に参加いただいた。文化プログラムを通じて生まれた状況をレガシーとして、未来に継承・発展させていく必要がある。

2. 「東京文化戦略 2030」に関する有識者の意見

文化戦略における4つの戦略の設定に当たっては、東京芸術文化評議会文化政策部会で議論を行ってきたが、芸術文化以外の分野（健康・福祉、観光等）を含めた多くの有識者及びステークホルダー（企業・区市町村等）を対象にヒアリングを行った。

有識者の主な意見は、以下のとおりである。

■戦略1 = 「人々のウェルビーイングの実現に貢献する」に関する意見

主旨：ターゲットの設定とターゲットに向けた手法

- ・人々が文化的環境で生きることを人権として認める文化権の保証は、重要であるとする。文化という選択肢を平等に提供すべき。広くは芸術文化が不要不急だという認識がある。生きることが必死な状況であっても文化的な生活を営むことを保証するようなニュアンスを入れたほうがよい。
- ・最近、劇場では中高年の鑑賞者が増えている。チケットの価格高騰もその要因と考えられるが、若い人が鑑賞しやすいようにしていく必要があると思う。
- ・アメリカでは、大学の学費は高いが芸術を鑑賞するコストは安い。日本では、国立美術館がキャンパスメンバーズという制度（大学・短期大学・高等専門学校等を対象とした会員制度）を持っているが、音楽・演劇分野ではそのような制度が充実していない。大学生にとってメリットのある制度があると良いのではないか。全員に優遇することは難しいだろうから、例えば抽選で対象者を選んでも良い。
- ・若手アーティストの支援策として、街なかやアウトリーチなどで生の芸術を披露することはできないだろうか。
- ・本来、芸術文化は広場・駅前・公園で行われるべき。ロンドンではトラファルガー広場で毎日コンサートが行われている。東京都内には沢山文化団体があるので、ホールだけではなくそのような場所でやってはどうか。
- ・人々に芸術文化に対する敷居を感じさせないことが大事。自分が歩いている場所と地続きに表現があり、出くわしてしまうような構造。意図的に文化施設に行くのではなく、生活の中で思わず出くわしてしまうような事業が必要。

■戦略2 = 「人々をインスパイアする」に関する意見

主旨：訪日外国人のターゲット設定

- ・コロナの流行以前から、美術を鑑賞したいという目的で訪日する外国人は海外と比べて少ない。この状況は勿体ないと思っている。インバウンドに対して芸術面を押ししていく必要がある。

■戦略3 = 「芸術文化のハブ機能を強化する」に関する意見

主旨：ネットワーキングにおける魅力的な場の必要性

- ・海外の芸術文化関係者が訪日した際、東京の芸術文化関係者と対話ができるような場所が東京には無い。海外とつながっていく場がなく、点でしかなくなってしまっている。2～3年かけてハブとなるような場作りを集中して行くと、大分景色が変わっていくのではないだろうか。様々なアーティストが集まる場を設ければ、交流機能を東京が果たすことができる。
- ・東京には人が集まる魅力的な場所が必要である。東京には大学、美術館、コレクターなどが集まっている。例を挙げると、パレ・ド・トーキョーのような場所があると良い。魅力的なショップやレストランがあって、アーティストが滞在できる機能もある。また、ミュージアムとしての企画の質も高く、商業的な活動も行える場所である。
- ・地域で活躍しているアーティスト等が東京で発表できるような、ハブとしての役割を東京が担うことが重要だと思う。

主旨：都立文化施設の国内外のネットワーキング強化の必要性

- ・海外の芸術文化関係者は日本にいる友達を訪ねてくる。接点が多いのは、国際交流基金や民間の美術館ではないか。都立の団体や文化施設は顔が見えず、存在感が薄い。都の施設のキュレーターは海外に行く時間が取れないのだろう。

■戦略4 = 「持続性のある芸術文化エコシステムを構築する」に関する意見

主旨：エコシステム構築の重要性

- ・芸術文化団体・芸術家の経営能力の向上は非常に重要である。
- ・東京においても、芸術文化における供給側の経営基盤の脆弱性がコロナ禍で表面化した。これは、フリーランスを含めて考える必要がある。
- ・エコシステムの構築は重要な視点。東京都が戦略として設定することに価値を感じる。
- ・エコシステムの強化は最も期待したいポイント。

主旨：エコシステム構築における留意点

- ・エコシステムは美術と舞台芸術で構造が違うということを頭に置いておかなくてはいけない。
- ・行政はこれまで非営利の分野を扱ってきた。ただ、文化で世界を惹き付ける等といった目的においては、非営利と営利を分ける必要はないと思う。以前は、芸術は利益が出ないから穴埋めをしなくてはという考え方のもとに行政は非営利分野を重点的に支援してきたが、文化政策も時代とともに変わり、非営利・営利の区分けに意味が無くなってきている。営利の部分でも公共の持つ役割があるはずである。
- ・コロナによって芸術文化の価値が問い直されている。これまで日本では、芸術文化がエンタメと非営利に分かれてきた。エンタメ産業は、アーティストとオーディエンス（観客）との距離がとても遠い。コロナによって大量の観客を対象とすることが難しくなり、営利・非営利の別はなく、全員

が表現者であるということが見直されるのではないか。営利と非営利が合わさって、芸術自体がインクルーシブなものになっていくのではないか。

主旨：エコシステム構築に向けた手法

- ・ 芸術家・従事者の会計・財務の知識が不足している。ビジネスを発注する側が報酬を提示しないなどの商習慣も問題。発注者側の意識改革も必要である。
- ・ 芸術家の所得申告が大事。組織だったら資金調達など。ターゲットによってやるべきことが違ってくる。
- ・ 現在の助成制度は実績がない団体は採択されにくく、卒業してすぐの新人などが救ってもらえる制度がない。50年後のアーティストを応援していこうというのであれば、ファーストステップへの助成が必要だろう。シードマネー助成はあっても良いのでは。
- ・ 助成金では過去の実績が重視され、抜擢はなかなかされない仕組みになっている。アイデア・発想を純粋に評価される助成枠があったら良い。
- ・ 活動のなかで一番厳しい時期である30代くらいの中堅層を何とか支援できないだろうか。若い時は注目されるが、その後中堅として売れるためのプロセスが見えづらい。人生設計的にもそこが苦しい。
- ・ 若手や中堅の作家に対しては、展覧会の機会を提供することが最大の支援。公的なところで展示してあげることが重要。ディレクションも若手の学芸員にやらしてもらえば良い。アワードと言うよりも展示の機会を与えてあげること、見てもらいたい人をちゃんと連れてくること、アーティストブックを作ってあげることも重要であると考え。

■重点手法1 = 「デジタルテクノロジーの活用」に関する意見

主旨：デジタルテクノロジーの活用の重要性と留意点

- ・インターネットを使って芸術文化を楽しむということは今後重要になるだろう。戦略において重要なポイント。
- ・都の戦略に盛り込むべきは、デジタルの活用、リアルイベントとの相乗効果の視点である。
- ・デジタル配信は重要な情報発信手段である。現在、芸術祭でもネット配信が効果的になっている。
- ・テクノロジーは重要だが、身体を使った生の部分とのつながりを重視したほうが良い。アナログな部分があるからこそテクノロジーが生きてくる。リアルなものを思い起こさせるから意味がある。
- ・デジタル活用を進めると、デジタル・ディバイドを生む恐れがある。デジタル弱者を放っておいてはいけない。
- ・デジタル技術を使う際に、リアルに固執してしまいがちである。電子書籍もそうだが実際の本と同じように見せるためにページめくりの機能に凝ったりする。美術館でも同じである。VRなどを使って、実際に美術館を鑑賞しているようなサービスにしてしまう。これは全く新たな価値を生んでおらず意味がない。これまでとは違う、見せ方をする必要がある。
- ・デジタルテクノロジーについては、業界のプレーヤーがそれをどう使えばいいのか分からないという現状があると思う。

■重点手法2 = 「企業等との協業」に関する意見

主旨：企業等と東京都の協業の可能性

- ・場（プラットフォーム）作りに企業も関心を持つのではないだろうか。芸術祭へのサポート企業も増えている。企業も組織内部に文化的なものを持たないといけないと考えるようになってきている。
- ・日本では近年、企業家がアートに関心を寄せている。一部上場企業がアートに関して興味を持っている。アートはコミュニケーションが生まれる有効なものとして見なされるようになってきている。
- ・行政は何かをやろうとするときに全て自分でやろうとしてしまう。是非、企業や都民の力を引き出してほしい。芸術と企業のマッチングの場をセッティングすることが行政の役割。メセナ的に芸術を支援したいという企業も増えてきている。文化芸術に価値を感じている若い経営者も多い。文化に貢献するための仕組みを作ったら良いのではないか。こういったときのネットワークづくりが本来の自治体の役割であると考えます。
- ・企業はビジネスにおいて、良い製品を作るためには、芸術文化の感受性が必要であることに気づいてきている。企業と色々なプロジェクトを作ってチャレンジしてみてもどうか。
- ・芸術のコミュニティにはマイノリティが多く活躍している。そのコミュニティをビジネスのコミュニティと繋げることで、企業としてはある種の研修になるかもしれない。企業は多様性と言いながら、同質性の高い人を採用する。これはこれまでのビジネスでは経済合理性が高かったからである。ただ、企業も多様性を持つために投資をするようになっており、そこに芸術文化の役割が見いだされるかもしれない。

■重点手法3 = 「目標を実現する担い手の育成」に関する意見

主旨：担い手育成における戦略の必要性

- ・東京都と東京都歴史文化財団の各種育成事業は整理が必要である。違いが判らないものも多く混乱を招く。東京都と東京都歴史文化財団だけだと議論が煮詰まってしまうので、外部の有識者を入れて全体として設計し直すべきである。
- ・各施設で人材育成事業を行っており、それぞれは良い取り組みを行っているのだが、東京都の施策とどのように連動しているかが見えづらい。また、施設間の相互の連携も見えづらい。

■重点手法4 = 「関係自治体との連携強化」に関する意見

主旨：連携強化の必要性と連携強化に向けた手法

- ・「周辺自治体・関係機関との連携強化」については、前の東京文化ビジョンの時はあまり意識していなかったものである。文化戦略にこれを盛り込むのは良いと思う。
- ・「エコシステムの構築」は、都の取り組みだけで実現できるものではない。周辺自治体へのアプローチも考えなくてはならない。
- ・自治体連携を進めるには、基礎自治体との定期的な意見交換の場を設けることが効果的だと思う。
- ・基礎自治体との会議体などを作るだけで大分違うのではないかと思う。特にオンラインを使って、意見交換くらいにすればそれほど負担にもならない。日々の業務に流されないように、きちんと定例会議のような”型”を作って行うことも効果的かもしれない。
- ・しっかりとした計画を持っている自治体は少ない。計画を作ろうとする自治体への支援や連絡会議を密に行うことが重要であると考えます。
- ・コミュニティ形成のような取り組みは基礎自治体の役割が大きい。自治体との連携を本気で行っていくのであれば、基礎自治体に対して具体的なインセンティブを用意する必要があるだろう。

3. 各種調査・統計データを踏まえた現状と課題の整理

文化戦略の策定に当たり、各種統計・調査を基に東京の芸術文化に関する現状について整理・分析を行った。以下の項目について、主な内容を記載する。

- (1) 都民の芸術文化の鑑賞に関する状況
- (2) 産業と芸術文化の繋がりに関する状況
- (3) 芸術文化の創造拠点としての状況
- (4) アーティストの活動環境に関する状況
- (5) 都民の芸術文化に対する認識
- (6) その他検討に当たって注視すべき状況

(1) 都民の芸術文化の鑑賞に関する状況

○新型コロナウイルスの拡大前（2019年3月頃から2020年2月頃までの間）に、美術館・映画館・劇場・音楽堂・屋外のイベント等において直接的に芸術文化の全ての分野¹（以下「全分野」という。）を鑑賞した割合は約49%であった。また、特に公共分野の支援が大きい傾向のある特定の分野²（以下「特定分野」という。）の鑑賞割合は約29%であった（図表1）。

図表1 各分野の鑑賞割合（直接の鑑賞・新型コロナウイルスの拡大前（2020年2月頃まで）の1年間）

	(n=6,000)										(%)
	映画	音楽 (ポップス等)	ミュージカル	ダンス (ストリートダンス等)	大衆芸能	美術	音楽 (オーケストラ等)	演劇(現代演劇等)	バレエ・現代舞踊	伝統芸能	
各分野	39.5	17.8	10.4	3.4	6.6	23.7	12.9	7.9	4.4	6.7	
全分野いずれか	49.1										
特定分野いずれか	—					29.3					

出所) 東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)

¹美術、映画、音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ、オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）、ミュージカル、演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）、ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）、バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）、伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）、大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

²美術、音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）、演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）、バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）、伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

○分野ごとの鑑賞割合を年代別にみると、特に特定分野の鑑賞割合は年代間で大きな差がみられた。
特に若い世代ほど特定分野の鑑賞割合が低く、年代が上がるほどその割合が高い（図表2）。

図表2 年代別の認識別鑑賞割合（直接の鑑賞・新型コロナウイルスの拡大前（2020年2月頃まで）の1年間）（%）

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	19~25歳	全体
サンプル数		180	762	1,017	1,093	993	1,080	875	547	6,000
全分野	映画	45.0	47.0	39.4	40.6	37.2	36.7	36.7	47.2	39.5
	音楽（ポップス等）	12.2	21.4	19.3	19.9	17.5	15.2	14.9	20.8	17.8
	ミュージカル	5.0	11.7	11.9	10.3	8.4	9.7	11.7	11.9	10.4
	ダンス（ストリートダンス等）	2.8	5.5	3.3	3.1	2.8	2.6	3.4	6.0	3.4
	大衆芸能	2.2	5.0	5.5	5.3	5.4	7.5	11.7	5.3	6.6
特定分野	美術	9.4	16.5	17.3	21.8	20.8	29.2	39.2	16.5	23.7
	音楽（オーケストラ等）	9.4	9.2	8.7	10.6	10.1	16.4	23.8	10.4	12.9
	演劇（現代演劇等）	3.9	7.7	7.0	8.4	6.6	9.4	9.0	8.2	7.9
	バレエ・現代舞踊	3.3	4.2	4.4	4.2	4.0	4.4	5.3	5.3	4.4
	伝統芸能	1.7	5.0	5.2	4.5	5.4	8.7	12.3	6.0	6.7
全分野いずれか		48.3	51.7	46.2	50.2	45.9	48.5	53.1	51.2	49.1
特定分野いずれか		19.4	21.4	22.0	27.9	26.1	35.2	44.9	21.8	29.3

出所）東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」（2021年9月調査）

○鑑賞に関心があるが、いずれの分野も鑑賞していない人の割合は24.5%であった（図表3）。

図表3 各分野の鑑賞に関心がある割合と鑑賞割合

(n=6,000)	関心	鑑賞	(%)
美術	26.9	23.7	
映画	50.3	39.5	
音楽（ポップス等）	33.9	17.8	
音楽（オーケストラ等）	20.7	12.9	
ミュージカル	17.1	10.4	
演劇（現代演劇等）	10.3	7.9	
ダンス（ストリートダンス等）	6.5	3.4	
バレエ・現代舞踊	6.6	4.4	
伝統芸能	10.8	6.7	
大衆芸能	12.2	6.6	
いずれにも関心がない		いずれも鑑賞していない	
		30.7	50.9
いずれかに関心がある		いずれか鑑賞した	
		69.3	49.1

	いずれも鑑賞していない	いずれか鑑賞した	合計
いずれにも関心がない	26.5	4.3	30.7
いずれかに関心がある	24.5	44.8	69.3
合計	50.9	49.1	100.0

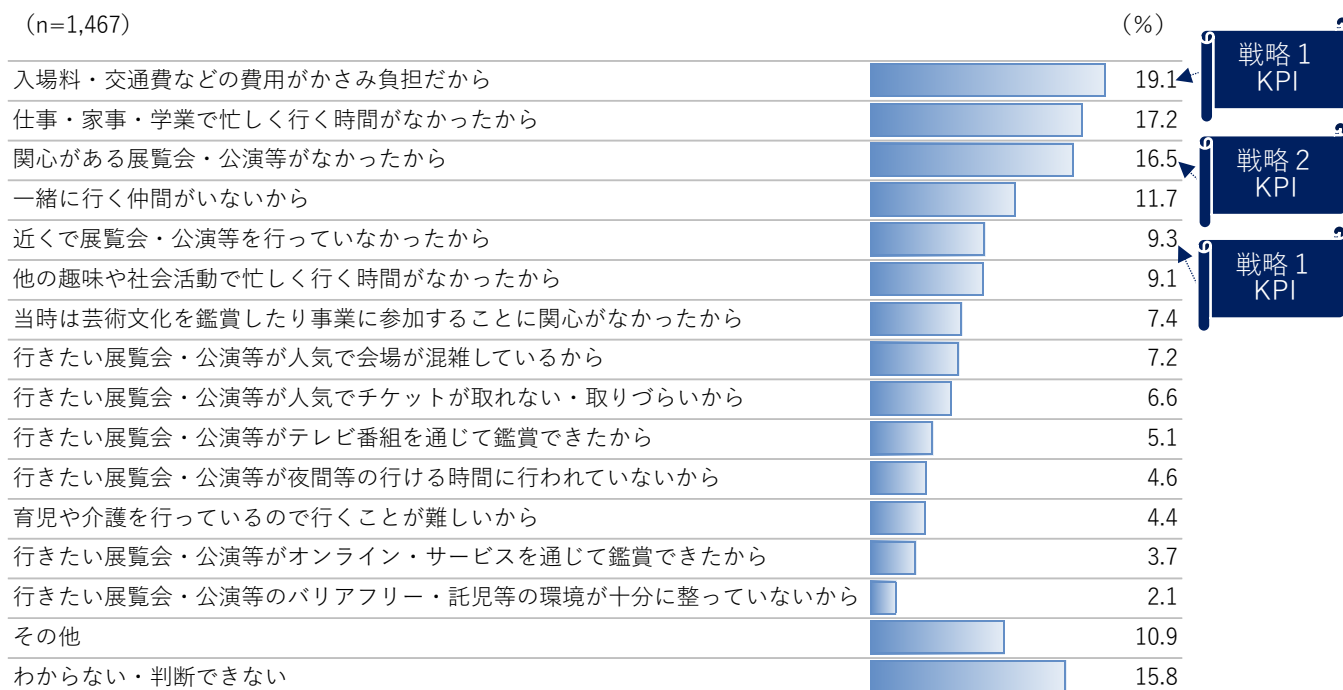
出所）東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」（2021年9月調査）

戦略1
KPI
鑑賞

戦略1
KPI

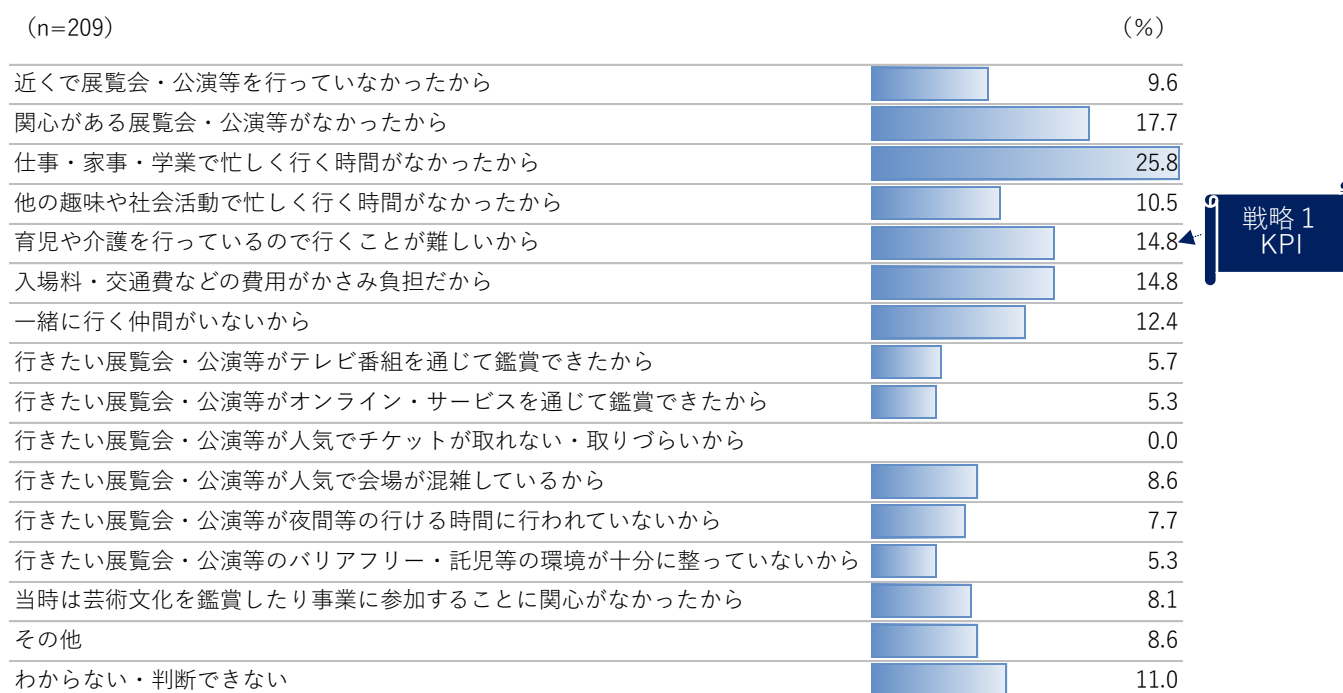
- 鑑賞していない理由として「入場料・交通費などの費用がかさみ負担だから」、「仕事・家事・学業で忙しく行く時間がなかったから」、「関心がある展覧会・公演等がなかったから」、「一緒に行く仲間がいないから」、「近くで展覧会・公演等を行っていないから」が多かった（図表4）。
- 育児・介護をしている方については、「育児や介護を行っているので行くことが難しいから」が14.8%であった（図表5）。

図表4 非鑑賞理由（直接の鑑賞・新型コロナウイルスの拡大前（2020年2月頃まで）の1年間）※複数回答



出所) 東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)

図表5 非鑑賞理由（育児・介護あり）※複数回答



出所) 東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)

- 新型コロナウイルスが直接鑑賞に与えた影響は大きく、特定分野を直接鑑賞した人の割合はコロナ前後で 29.3%から 14.0%に減少している（図表 6）。
- 「以前のように鑑賞に行く又は行きたいと思う条件」について、29.9%が「新型コロナウイルスに感染する不安が少しでもあるうちは、見に行かない」と回答しており、これまでの鑑賞のあり方は変わっていかざるをえないと言える（図表 7）。

図表 6 直接・オンラインでの鑑賞割合
 （新型コロナウイルスの拡大前（2020年2月頃まで）と拡大後（2020年3月頃から）の1年間）
 (n=6,000) (%)

	直接鑑賞		オンライン鑑賞	
	コロナ前	コロナ後	コロナ前	コロナ後
美術	23.6	9.8	8.9	6.1
映画	39.6	22.6	29.5	28.9
音楽（ポップス等）	17.8	6.6	16.7	17.2
音楽（オーケストラ等）	12.9	4.6	8.6	8.1
ミュージカル	10.4	4.2	5.6	4.7
演劇（現代演劇等）	7.9	3.6	3.9	3.8
ダンス（ストリートダンス等）	3.3	2.2	3.7	3.7
バレエ・現代舞踊	4.5	2.3	3.4	3.7
伝統芸能	6.7	3.0	4.1	3.6
大衆芸能	6.6	3.1	5.2	5.2
全分野いずれか	49.1	31.0	37.9	37.6
特定分野いずれか	29.3	14.0	14.5	12.4

出所) 東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)



図表 7 都内のホール・劇場等に以前のように行く又は行きたいと思う条件 ※複数回答³

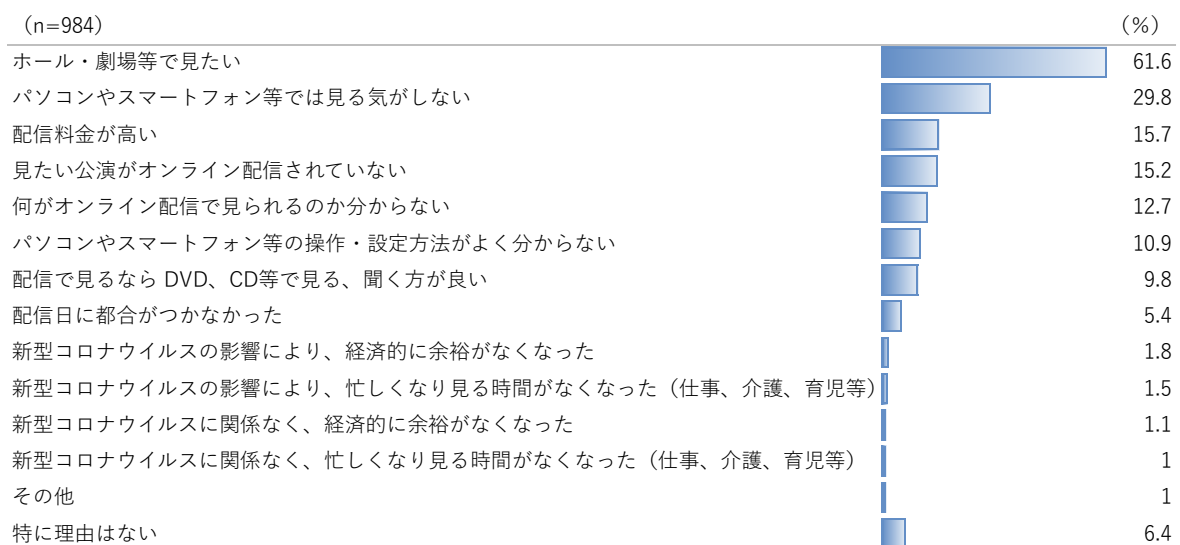
	(%)
新型コロナウイルスに感染する不安が少しでもあるうちは、見に行かない	29.9
新型コロナウイルスの1日当たりの都内新規感染者数が数十人程度になったら	17.6
新型コロナウイルスに対するワクチンが日本国内で普及し始めたら	16.5
新型コロナウイルスに対するワクチンを希望すれば身近な病院等で接種できるようになったら	12.8
新型コロナウイルスの1日当たりの都内新規感染者数が数人程度になったら	10.9
新型コロナウイルスの1か月当たりの都内新規感染者数が数人程度になったら	5.4
その他	1.3
わからない	5.5

出所) 東京都「新型コロナウイルス感染症に伴うホール・劇場等の鑑賞者意識調査」(2021年1月調査)

³ 「2020年6月~11月の2019年の同時期に対しホール・劇場等に見に行く回数の変化」について、「2019年の同時期と比べ、頻度・回数は減ったが見に行った」、「見に行かなかった」と回答し、さらに「見に行く頻度・回数が減った又は見に行かなかった理由（複数回答）」について、「自分及び一緒に行く人がホール・劇場等の中で新型コロナウイルスに感染しないか不安だった（一人で見に行く場合も含む）」、「自分及び一緒に行く人がホール・劇場等への移動中に新型コロナウイルスに感染しないか不安だった（一人で見に行く場合も含む）」を選択した方の回答（全1,808サンプル中955の回答）。

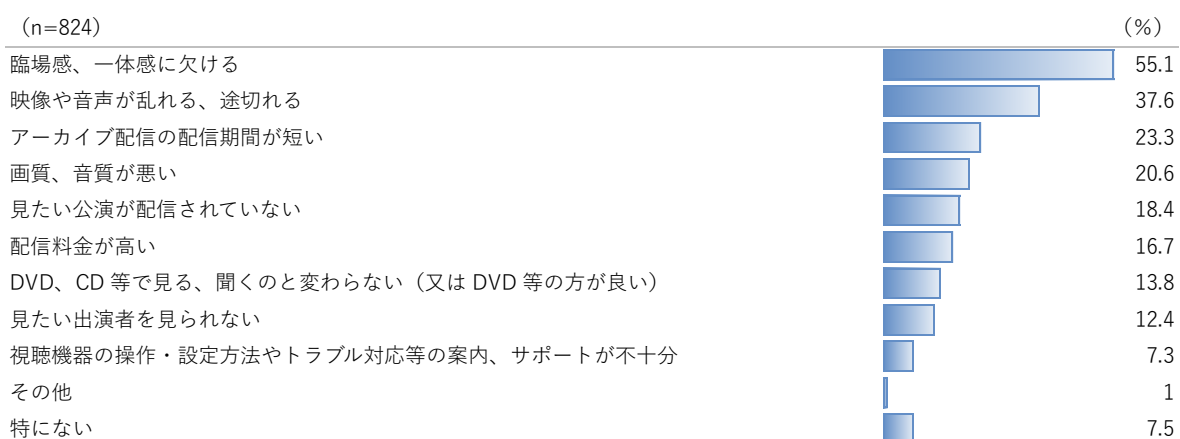
- オンライン鑑賞についても、各分野ともにコロナ禍前後で割合が向上していないことが分かった（図表6）。
- なお、特定分野の鑑賞に関心はないが、オンラインでそれらの分野を鑑賞した人は、全体の2.3%であった⁴。
- オンラインの非鑑賞者は、「ホール・劇場等で見たい」、「パソコンやスマートフォン等では見る気がしない」を理由として挙げている割合が高かった（図表8）。また、オンラインの鑑賞者が、不満に感じる点として「臨場感、一体感に欠ける」、「映像や音声がかかる、途切れる」、「アーカイブ配信の配信期間が短い」を挙げている割合が高かった（図表9）。オンライン鑑賞の定着には技術・サービス面など様々な課題があることが分かった。

図表8 (2020年6~11月のオンライン非鑑賞者が) オンラインで見なかった理由 ※複数回答



出所) 東京都「新型コロナウイルス感染症に伴うホール・劇場等の鑑賞者意識調査」(2021年1月調査)

図表9 (2020年6~11月のオンライン鑑賞者が) オンライン配信で不満に感じる点 ※複数回答



出所) 東京都「新型コロナウイルス感染症に伴うホール・劇場等の鑑賞者意識調査」(2021年1月調査)

⁴ 特定分野の鑑賞に関心がない人は全体で60.6%（3604人/6000人）、さらに、このうちコロナ禍後にオンラインで特定分野を鑑賞した人は全体で2.3%（139人/6000人）であった（東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)）。

○鑑賞理由については、男性 30 代以上では「友人・知人に誘われたから」との回答が少ない。また、女性 20～40 代では「見たい展示や公演、映画などがあったから」との回答が多く、目的意識を強く持っている傾向が見られた（図表 10）。

図表 10 性別・年代別の直接による鑑賞理由 ※複数回答

※回答項目ごとにどの年代の回答が多かったかを比較してハイライト

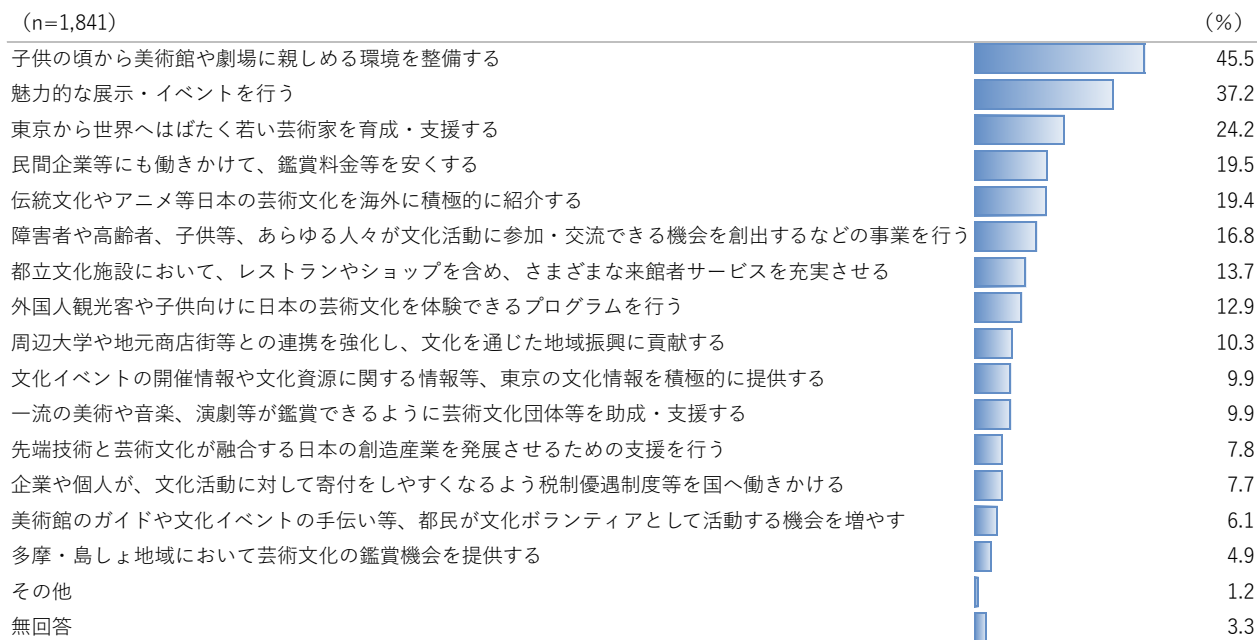
(%)

	サンプル数	見たい展示や公演、映画などがあったから	友人・知人に誘われたから	広告・チラシ等のメディアを見たから	近くに文化施設や映画館があったから	時間に余裕があったから	割引券や招待券などをもったから	外出先でたまたま開催されていたから	入場料等の料金が安かったから	
全体	1,307	71	33	21	15	15	14	7	5	
性年代	男性（計）	563	68	29	21	16	19	11	8	6
	20代	73	74	43	15	16	22	3	11	3
	30代	87	70	18	20	12	17	6	10	5
	40代	111	70	23	15	14	12	9	11	5
	50代	96	77	29	22	16	22	12	5	4
	60代	93	67	28	29	19	25	17	5	9
	70歳以上	98	52	35	22	17	19	17	5	8
	女性（計）	744	72	36	21	15	11	17	7	4
	20代	104	85	41	22	15	11	13	10	4
	30代	136	78	29	21	15	10	10	7	2
	40代	150	77	35	19	13	7	20	5	7
	50代	127	72	39	26	17	10	21	5	6
	60代	118	66	33	20	17	12	24	9	3
	70歳以上	103	55	40	18	9	19	13	6	3

出所) 東京都「文化に関する世論調査」(2017年11月・2018年1月調査)

○東京の文化振興をさらに発展させるために東京都が積極的に進める必要がある取組として、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」との回答割合が最も高かった（図表 11）。

図表 11 東京の文化振興をさらに発展させるために東京都が積極的に進める必要がある取組 ※複数回答



出所) 東京都「文化に関する世論調査」(2017年11月・2018年1月調査)

(2) 産業と芸術文化の繋がりに関する状況

○71.4%の都民が、芸術文化には「人々の創造力を豊かにさせること」に係る役割・効果があると考えている（図表 12）。

図表 12 芸術文化の役割・効果



出所) 東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)

○「芸術的視点は、あなたの仕事において重要であるか」との質問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は22%となっている（図表13）。本設問の回答内容を年代別でみると、若い世代のほうが比較的割合が高く（図表14）、職種別でみると、「商品企画・開発」のほか、「個人事業主・店主」、「企業等の経営者・役員」でその割合が高かった（図表15）。

図表13 様々な事柄における芸術的視点の重要性について

(n=23,280)

(%)

	そう思う	どちらか といえば そう思う	左記合計	わからない・判断 できない	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない
芸術は、人々が豊かに生きるために必要である	20	39	59	19	15	8
芸術は国際的な相互交流において重要である	15	40	55	21	16	8
芸術的視点は、地域の魅力の向上において重要である	9	39	48	24	18	10
芸術に対して公的な支援が十分に行われるべきである	10	35	45	24	21	10
芸術は国家ブランドの向上において重要である	10	35	44	25	21	10
芸術的視点は、産業競争力の強化において重要である	6	28	34	28	24	14
芸術的視点は、企業のより良い経営において重要である	5	26	31	29	27	14
芸術的視点は、あなたの仕事において重要である	5	17	22	27	25	26

出所) アート東京・芸術と創造「日本のアート産業に関する市場レポート2019」(2019年9月調査)

図表14 年代別 様々な事柄における芸術的視点の重要性について
 (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計)

※質問項目ごとにどの年代の回答が多かったかを比較してハイライト

(%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代
サンプル数	3,074	3,542	4,379	4,497	5,759	2,746
芸術は、人々が豊かに生きるために必要である	48	51	52	60	66	70
芸術は国際的な相互交流において重要である	46	49	49	55	61	66
芸術的視点は、地域の魅力の向上において重要である	43	44	44	47	51	57
芸術に対して公的な支援が十分に行われるべきである	38	40	40	45	50	55
芸術は国家ブランドの向上において重要である	41	42	39	44	47	53
芸術的視点は、産業競争力の強化において重要である	33	34	33	34	32	36
芸術的視点は、企業のより良い経営において重要である	30	30	30	29	29	34
芸術的視点は、あなたの仕事において重要である	26	23	23	23	19	22

出所) アート東京・芸術と創造「日本のアート産業に関する市場レポート2019」(2019年9月調査)

図表 15 職種別「芸術的視点は、あなたの仕事において重要である」と思う割合
 (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計)

(%)

	サンプル数	割合
商品企画・開発	233	38
個人事業主・店主	1,169	38
企業等の経営者・役員	719	32
基礎・技術研究	256	30
営業・販売	2,131	26
経営・事務企画	637	24
技術開発・設計	679	24
情報処理(システム)	632	22
人事・総務・経理	1,664	20
製造・生産・品質管理	1,149	20
購買・仕入業務	151	18
物流・配送	358	17
広報・編集※	61	44
調査・広告・宣伝※	65	31

※サンプル数が少ないため参考値

出所) アート東京・芸術と創造「日本のアート産業に関する市場レポート 2019」(2019年9月調査)

(3) 芸術文化の創造拠点としての状況

○2015年の国勢調査によると、芸術文化に関連する都内の従事者は66,280人である。「著述家」、「音楽家」、「舞踊家、俳優、演出家、演芸家」については、全国に占める東京都の割合が30~40%と高く、東京都への集中度が高いことが分かった(図表16)。また、東京都の芸術文化関連従事者の平均年齢は全国よりも若干高く、各職業ともに30代以下の割合が少ない傾向があった(図表17)。

図表 16 全国と東京都の芸術文化関連従事者数と平均年齢

	人数(人)			平均年齢(歳)		
	全国	東京都	東京都の占める割合	全国	東京都	東京都と全国の差分
著述家	25,290	9,710	38%	51.1	51.3	0.2
彫刻家・画家・工芸美術家	37,820	9,510	25%	46.5	46.5	0.0
写真家・映像撮影者	63,970	12,290	19%	46.3	46.7	0.4
音楽家	23,180	8,150	35%	44.4	47.2	2.8
舞踊家・俳優・演出家・演芸家	53,960	22,930	42%	42.1	43.3	1.2
図書館司書・学芸員	27,860	3,690	13%	43.2	45.2	2.0
合計	232,080	66,280	29%	—	—	—

出所) 総務省「国勢調査」(2015年10月調査)

図表 17 年代別 全国と東京都の芸術文化関連従事者の割合

(%)

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
全国	著述家	7	17	25	26	15	11
	彫刻家・画家・工芸美術家	14	26	22	15	14	8
	写真家・映像撮影者	16	21	24	18	15	7
	音楽家	16	28	20	21	10	4
	舞踊家・俳優・演出家・演芸家	22	24	27	16	8	3
	図書館司書・学芸員	15	26	30	22	7	0
東京都	著述家	7	15	25	27	15	11
	彫刻家・画家・工芸美術家	14	23	26	16	14	7
	写真家・映像撮影者	13	21	26	20	13	7
	音楽家	12	27	18	23	13	7
	舞踊家・俳優・演出家・演芸家	19	24	27	16	9	4
	図書館司書・学芸員	11	24	30	23	11	1
東京都と 全国 の差分	著述家	1	-2	1	1	-0	0
	彫刻家・画家・工芸美術家	-0	-3	4	0	-0	-1
	写真家・映像撮影者	-3	0	3	2	-2	0
	音楽家	-5	-2	-2	2	3	3
	舞踊家・俳優・演出家・演芸家	-3	0	0	-0	2	1
	図書館司書・学芸員	-4	-2	0	1	4	0

出所) 総務省「国勢調査」(2015年10月調査)

○東京都内には87の美術博物館があり、このうち博物館相当施設数は21となっている。(東京都「東京都統計年鑑 平成31年・令和元年」)

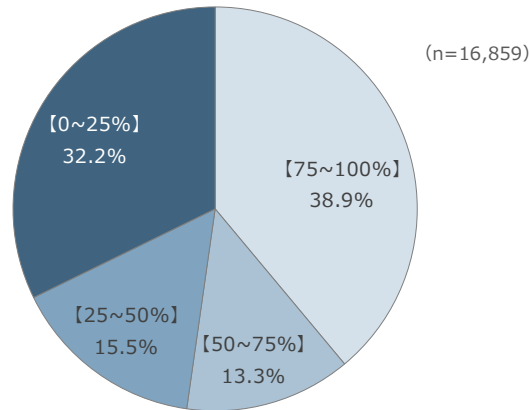
○東京都内には約1,300のホール・劇場等があり、区分としては、「ホール・劇場」が1,244、「スタジアム・アリーナ」が15、「野外会場」が20となっている。(東京都「都内ホール・劇場等の調査委託」(2019年)⁵)

⁵ 本調査は、収容可能人数50人以上で一般に対し有料貸出を行っている施設等が対象。

(4) アーティストの活動環境に関する状況

○2020年時点で各種文化芸術分野⁶の活動に関わる芸術家・実演家・教授・指導者・制作・技術スタッフの収入について、収入に占める文化芸術活動の割合が50%以下であるとの回答が全体の半数程度であった。(図表18)。

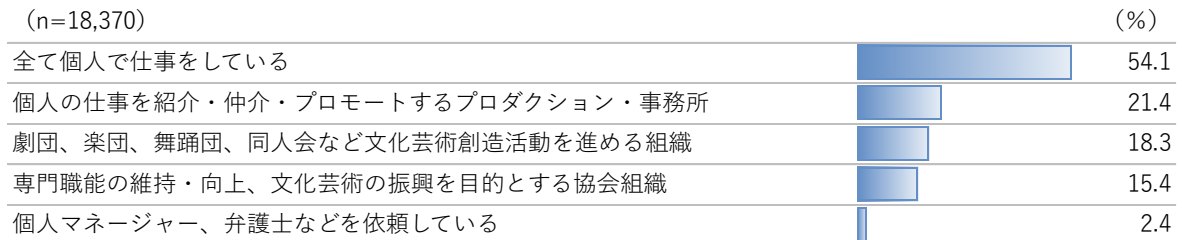
図表18 収入に占める文化芸術活動の割合



出所) 文化庁「文化芸術活動に携わる方々へのアンケート」(2020年9~10月調査)

○また、芸術文化に係る活動をしている方の半数以上が組織に属していないことが分かった(図表19)。

図表19 組織への所属状況



出所) 独立行政法人日本芸術文化振興会・文化芸術推進フォーラム「文化芸術活動の継続支援事業」及び新型コロナウイルス感染拡大による影響に関するアンケート調査(2021年4~6月調査)

⁶ 文学・音楽・美術・写真・デザイン・演劇・舞踊・メディア芸術・伝統芸能・大衆芸能・生活文化・国民娯楽等

○今後の芸術文化に係る活動について、団体の87.9%、個人の86.5%が「できるだけ継続したい」と回答するなど、圧倒的多数が活動の継続を望んでいる（図表20）。

図表20 今後の芸術文化に係る活動を継続したいと考える団体・アーティスト等の割合⁷

	（％）							
	できるだけ継続したい	←	←	どちらともいえない	→	→	必ずしも継続したいとは思わない	わからない・判断できない
団体 (n=165)	87.9	6.1	3.0	1.2	0.6	0.0	1.2	0.0
個人 (n=1,412)	86.5	4.7	3.1	3.3	0.4	0.4	1.0	0.5

出所) 東京都「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」(2022年1月調査)

- 芸術文化団体、個人ともに、活動・仕事を行うに当たって「活動を継続すること」を重視しているとの回答が多い。また、団体・個人ともに「人々への芸術文化の普及啓発」、「芸術文化の新たな表現の追求」を重視するほか、団体では「アーティスト・後継者の育成」、個人では「好きな活動を行うこと」も高かった（図表21・図表22）。
- なお、「知名度の向上」、「専門家・関係者による表現に関する評価の向上」のいずれかを重視している団体・個人の割合は、61.5%であった（図表23）。

図表21 芸術文化に関する活動・仕事を行うに当たって重視している事柄（芸術文化団体）※複数回答 (n=165) (%)

人々への芸術文化の普及啓発	84.8
活動を継続すること	83.0
芸術文化の新たな表現の追求	75.2
収入・事業規模の拡大	63.6
アーティスト・後継者の育成	60.6
他のアーティスト・芸術団体等との交流・連携	54.5
団体の知名度の向上	53.9
利益の確保・拡大	53.9
好きな活動を行うこと	51.5
団体のコアなファンの拡大	44.2
収入源の多様化	40.0
芸術文化による各種波及効果の創出※	34.5
技能の伝承	33.3
国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上	32.7
あてはまるものはない	0.0

※観光・産業、コミュニティ形成・共生社会の実現、福祉等

出所) 東京都「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」(2022年1月調査)

⁷ 個人の継続意向に関する設問は、団体の継続意向の回答者も含まれている（例えば、団体の代表は団体としての継続意向と個人としての継続意向の両方に回答）。個人の継続意向から団体の継続意向の回答者を除き、それぞれを合算した場合、「できるだけ継続したい」の割合は86.6%となる。

図表 22 芸術文化に関する活動・仕事を行うにあたって重視している事柄（個人）※複数回答
(n=808) (%)

活動を継続すること	81.8
芸術文化の新たな表現の追求	66.0
好きな活動を行うこと	64.0
人々への芸術文化の普及啓発	63.4
収入の拡大	63.4
あなた自身や作品・活動の知名度の向上	57.9
利益の確保・拡大	47.6
他のアーティスト・芸術団体等との交流・連携	47.6
あなた自身や作品・活動のコアなファンの拡大	46.5
収入源の多様化	41.2
アーティスト・後継者の育成	40.2
芸術文化による各種波及効果の創出※	30.6
国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上	29.0
技能の伝承	21.7
あてはまるものはない	0.5

※観光・産業、コミュニティ形成・共生社会の実現、福祉等

出所) 東京都「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」(2022年1月調査)

図表 23 「知名度の向上」、「国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上」を重視している団体・アーティストの割合

団体 (n=165)	割合 (%)	回答者数 (人)
①団体の知名度の向上	53.9	89
②国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上	32.7	54
①もしくは②を選択	27.3	98

個人 (n=808)	割合 (%)	回答者数 (人)
①あなた自身や作品・活動の知名度の向上	57.9	468
②国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上	29.0	234
①もしくは②を選択	25.0	500

団体・個人合計 (n=973)	割合 (%)	回答者数 (人)
①あなた自身や作品・活動の知名度の向上	57.2	808
②国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上	29.6	808
①もしくは②を選択	61.5	808

出所) 東京都「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」(2022年1月調査)



○芸術家個人が受けた新型コロナウイルス感染症の影響について、「既に決まっていた仕事の機会がなくなった」割合は文化庁調査、日本芸術文化振興会等調査ともに約8割にのぼった（図表24・図表25）⁸。

図表 24 新型コロナウイルス感染症の影響について ※複数回答

(n=17,196)	(%)
文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会がなくなった（中止・延期された）	79.8
文化芸術活動に関して将来取り組む予定の仕事の見通しが立たなくなった	62.8
オンラインでの配信活動など今までと異なる仕事の方法に取り組むことになった	56.9
文化芸術活動以外の活動で生計を立てざるを得なくなった	26.4
ご自身や家族等の健康状態の悪化等により、文化芸術活動に取り組めなくなった	9.4
やむなく文化芸術活動に関わる施設、備品・用具を手放した	8.5
文化芸術活動の継続を断念した	5.8

出所) 文化庁「文化芸術活動に携わる方々へのアンケート」(2020年9~10月調査)

図表 25 新型コロナウイルス感染症の影響について ※複数回答

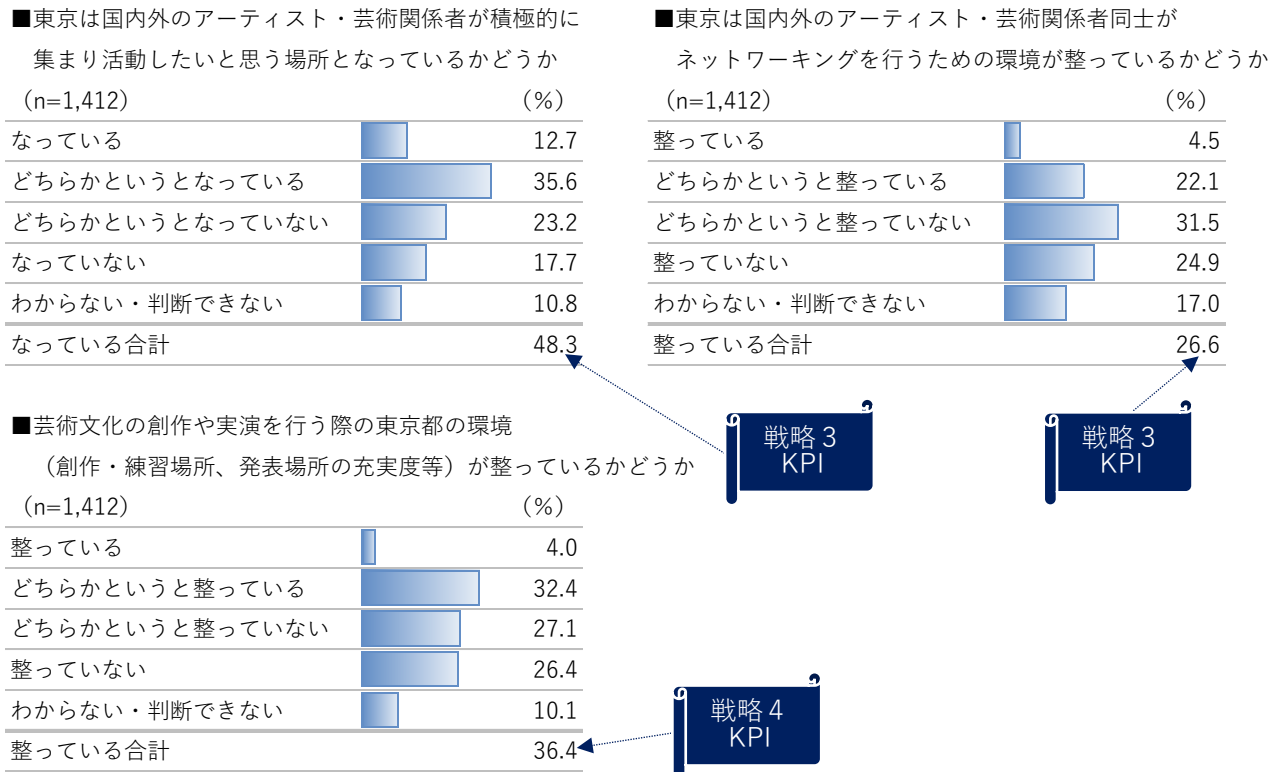
(n=18,370)	(%)
文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった	79.2
感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した	75.3
オンラインでの配信活動など今までと異なる新たな方法に取り組むことになった	53.2
文化芸術活動に関して将来の見通しが立たなくなった	27.3
見通しが立たないので芸術以外の新規事業の取り組みを検討した（始めた）	17.4
見通しが立たないので、影響の少ない他の芸術分野の新規事業の取り組みを検討した	17.3
感染症の状況に合わせあまり影響なく仕事に取り組んでいる	4.5
状況はかなり悪化しており、文化芸術活動の継続を断念した	1.3
その他	3.6

出所) 独立行政法人日本芸術文化振興会・文化芸術推進フォーラム「文化芸術活動の継続支援事業」及び新型コロナウイルス感染拡大による影響に関するアンケート調査」(2021年4~6月調査)

○東京都の芸術文化に係る環境の評価では、「東京は国内外のアーティスト・芸術関係者が積極的に集まり、活動したいと思う場所となっていると考えるアーティスト・従事者の割合」は48.3%、「東京は国内外のアーティスト・芸術関係者同士がネットワーキングを行うための環境が整っていると思うアーティスト・従事者の割合」は26.6%、「芸術文化の創作や実演を行う際の東京都の環境（創作・練習場所、発表場所の充実度等）が充実していると考えられるアーティスト・従事者の割合」は36.4%であった（図表26）。

⁸ 文化庁調査は、2020年9~10月に調査を実施、日本芸術文化振興会等調査は2021年4~6月に調査を実施している。文化庁調査は、メディア芸術、音楽、美術・写真・デザイン等の分野の活動をしている人が多く、日本芸術文化振興会等調査は、音楽、演劇等の分野が多い。

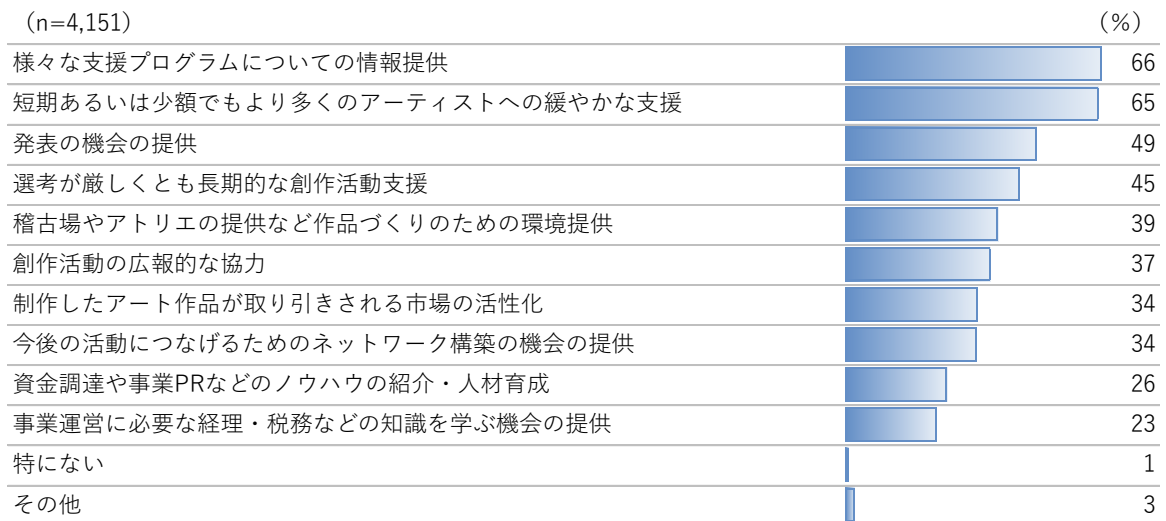
図表 26 東京都の芸術文化に係る環境の評価



出所) 東京都「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」(2022年1月調査)

○「アートにエールを！東京プロジェクト（個人型）」の採択者に対して行ったアンケートでは、東京都及び東京都歴史文化財団に求める支援内容として、全体では「様々な支援プログラムについての情報提供」、「短期あるいは少額でもより多くのアーティストへの緩やかな支援」の割合が高かった（図表 27）。活動分野別では、「稽古場やアトリエの提供など作品づくりのための環境提供」が演劇で 62%、舞踊で 54%、「制作したアート作品が取り引きされる市場の活性化」が美術で 61%と比較的高かった（図表 28）。

図表 27 東京都及び東京都歴史文化財団に求める支援内容 ※複数回答



出所) 「アートにエールを！東京プロジェクト（個人型）」事業実施に関するアンケート（2020年11月調査）

図表 28 東京都及び東京都歴史文化財団に求める支援内容（分野別）

(n=4,413)

(%)

	様々な支援プログラムについての情報提供	選考が厳しくとも長期的な創作活動支援	短期あるいは少額でも多くのアーティストへの緩やかな支援	稽古場やアトリエの提供など作品づくりのための環境提供	創作活動の広報的な協力	発表の機会の提供	制作したアート作品が取り引きされる市場の活性化	資金調達や事業PRなどのノウハウの紹介・人材育成	事業運営に必要な経理・税務などの知識を学ぶ機会の提供	今後の活動につながるためのネットワーク構築の機会の提供
演劇	61	40	67	62	34	44	31	27	27	32
舞踊	66	44	67	54	44	58	37	28	27	36
美術	63	46	58	38	52	50	61	27	21	40
音楽	70	49	68	30	37	50	32	25	23	33
映像	62	41	59	37	33	42	40	28	20	33
伝統芸能	69	39	49	32	39	56	18	25	16	37

出所「アートにエールを！東京プロジェクト（個人型）」事業実施に関するアンケート（2020年11月調査）

（5）都民の芸術文化に対する認識

○都が力を入れるべき分野として、8.8%が「文化・芸術の振興」に力を入れるべきと考えており、コロナ禍前後（2019年と2020年）で比較すると、4.4%から8.8%に上昇している。（東京都「都民生活に関する世論調査」（2019年6~8月、2020年9~10月調査））

(6) その他検討に当たって注視すべき状況

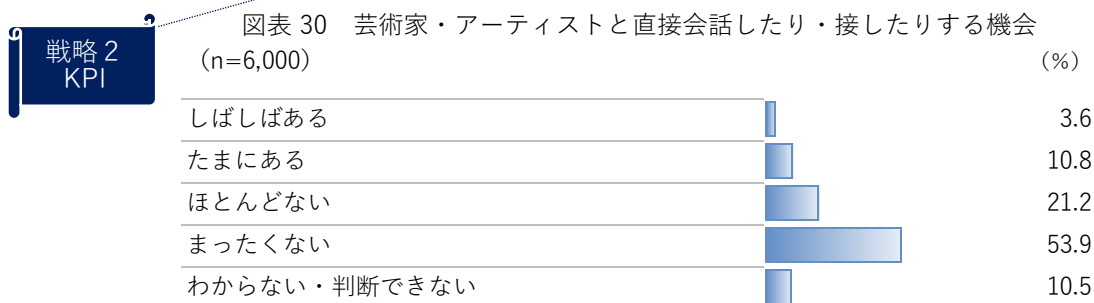
○東京都区部では、居住地域の文化的環境を充実させるために必要な事柄として、「地域在住の芸術家と接する機会の充実」を挙げた割合が全国と比較して高かった（図表 29）。

図表 29 居住地域の文化的環境を充実させるために必要な事柄 ※複数回答 (%)

	東京都区部	全国	東京都区部と 全国の差分
サンプル数	109	1,831	—
地域の芸能や祭りなどの継承・保存	36.7	36.8	-0.1
子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	33.9	40.5	-6.6
劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	33.0	28.1	4.9
歴史的建物や遺跡等を活かしたまちづくりの推進	23.9	24.9	-1
地域在住の芸術家と直接接する機会の充実	22.9	14.3	8.6
公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	19.3	19.8	-0.5
芸術家や文化団体の活動の支援	12.8	10.4	2.4
著名な芸術家を招へい	9.2	12.0	-2.8
文化事業等で地域の芸術家の作品を積極的に活用	9.2	7.0	2.2
その他	0.0	2.1	-2.1
特にない	7.3	9.1	-1.8
わからない	3.7	3.5	0.2

出所) 総務省「文化に関する世論調査 (2016年)⁹⁾ (2016年9月調査)

○芸術家・アーティストと直接会話したり・接したりする機会が「しばしばある」または「たまにある」と回答した都民の割合は14.4%であった（図表 30）。



出所) 東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)

⁹⁾ 2018年より文化庁に移管され、2018年、2019年、2020年と調査が行われているが、東京都や東京都区部と全国を比較したクロス集計結果が公表されなくなったため、直近で本比較を確認できる2016年調査を参照している。

○芸術を対象とした寄付をしたことがある・今後したい人の割合は 20.0%、芸術を対象としたボランティアをしたことがある・今後したい人の割合は 20.5%であった（図表 31）。

図表 31 芸術を対象とした寄付とボランティアの意向

■芸術を対象とした寄付意向（芸術に限らず、寄付をしたことがある・寄付をしたことがなが、今後は寄付をしたいとした人のなかの割合）

(n=2,348) (%) ※以下全体に対する割合

	寄付をしたことがある	寄付をしたこと			寄付をしたこと	
		がないが、今後は寄付をしたい	がなく、今後も寄付をしたいと思わない	わからない・判断できない	がないが、今後は寄付をしたい	がないが、今後は寄付をしたい
芸術文化施設	8	27	33	32	3	11
芸術文化団体	7	27	33	33	3	10
芸術家・アーティスト	8	27	32	33	3	11
芸術文化の事業・イベント	7	27	33	33	3	10
その他の芸術文化の対象	7	24	33	37	3	9

戦略4 KPI
→いずれかの対象に「寄付をしたことがある」・「寄付をしたことがなが、今後は寄付をしたい」：20.0%

■芸術を対象としたボランティア活動意向（芸術に限らず、ボランティアを経験をしたことがある・経験したことがなが、今後は経験したいとした人のなかの割合）

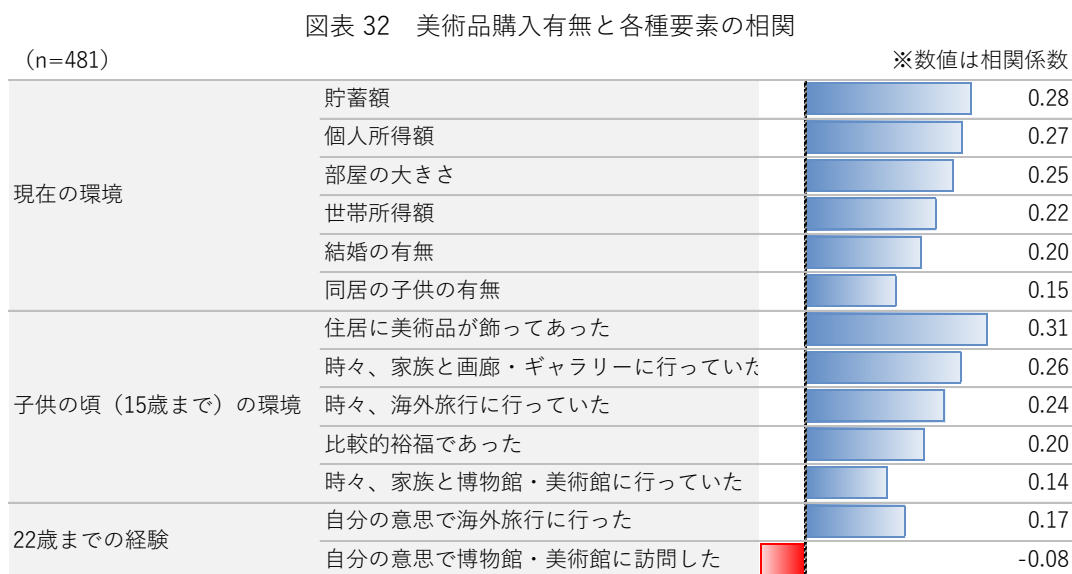
(n=2,827) (%) ※以下全体に対する割合

	経験したことがある	経験したことが			経験したことが	
		がないが、今後は経験したい	がなく、今後も経験したいと思わない	わからない・判断できない	がないが、今後は経験したい	がないが、今後は経験したい
芸術文化施設	6	30	39	26	3	14
芸術文化団体	5	28	40	27	2	13
芸術家・アーティスト	5	27	39	28	2	13
芸術文化の事業・イベント	6	30	37	26	3	14
その他の芸術文化の対象	5	27	39	29	2	13

戦略4 KPI
→いずれかの対象へのボランティアを「経験したことがある」・「経験したことがなが、今後は経験したい」：20.5%

出所) 東京都「新文化戦略に関する都民アンケート」(2021年9月調査)

○美術品を購入したことに繋がった要素として、子供の頃（15歳まで）の環境で「住居に美術品が飾ってあった」ことが最も相関が強かった（図表 32）。



出所) 一般社団法人アート東京・一般社団法人芸術と創造「日本のアート産業に関する市場レポート 2017」(2017年10月)

○世界の美術作家（1945年以降生まれ）の年間作品落札総額上位500人のうち、日本生まれの作家の数は、2010年に15人だったが、2020年には29人に増加している。日本の作家の世界的な注目度が高まっていることが言える。（Artprice「The Contemporary Art Market Report」）



4. 「新文化戦略に関する都民アンケート」単純集計結果

【調査の概要】

- ・実施期間：2021年9月10日～9月13日
- ・実施方法：インターネット・アンケート会社（株式会社クロス・マーケティング）が保有するモニターに対して実施
- ・対象者：東京都在住者
- ・割付：性別2区分、年代6区分（15～24歳、25～34歳、35～44歳、45～54歳、55～64歳、65歳以上）、就労状況4区分（会社・団体等の役員・個人経営の事業を営んでいる者・家族従業者、雇用者（正規）、雇用者（非正規）、非就業者）について、東京都の統計に基づき割付・回収
- ・有効回収数：6,000人
- ・調査方法設計、調査票設計・集計：一般社団法人芸術と創造

【単純集計結果】

■あなたの性別を選択してください。
（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
男性	2,899	48.3
女性	3,101	51.7

■あなたの年齢をお答えください。
（複数回答）

	回答数	歳
平均値	-	48.9
最小値	-	15.0
最大値	-	96.0

■あなたは下記のどちらにお住まいですか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
特別区（23区）	4,199	70.0
市	1,778	29.6
町村	23	0.4

■あなたは結婚していらっしゃいますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
未婚	2,388	39.8
既婚（離別・死別含む）	3,612	60.2

■あなたはお子様がいらっしゃいますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
はい（同居している子供がいる）	1,684	28.1
はい（同居している子供はいない）	1,224	20.4
いいえ	3,092	51.5

■現在、あなたと同居している家族に、病気・高齢・障害などにより、介護・介助が必要な方はいますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	4,277	100.0
いる	312	7.3
いない	3,759	87.9
わからない・判断できない・答えたくない	206	4.8

■あなたがお住まいの区を選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	4,199	100.0
千代田区	50	1.2
中央区	84	2.0
港区	112	2.7
新宿区	182	4.3
文京区	114	2.7
台東区	86	2.0
墨田区	122	2.9
江東区	228	5.4
品川区	203	4.8
目黒区	124	3.0
大田区	282	6.7
世田谷区	415	9.9
渋谷区	112	2.7
中野区	153	3.6
杉並区	287	6.8
豊島区	146	3.5
北区	165	3.9
荒川区	90	2.1
板橋区	230	5.5
練馬区	331	7.9
足立区	257	6.1
葛飾区	168	4.0
江戸川区	258	6.1

■あなたがお住まいの市を選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	1,778	100.0
八王子市	237	13.3
立川市	93	5.2
武蔵野市	81	4.6
三鷹市	84	4.7
青梅市	36	2.0
府中市	110	6.2
昭島市	35	2.0
調布市	104	5.8
町田市	190	10.7
小金井市	54	3.0
小平市	66	3.7
日野市	94	5.3
東村山市	61	3.4
国分寺市	57	3.2
国立市	31	1.7
福生市	23	1.3
狛江市	21	1.2
東大和市	39	2.2
清瀬市	32	1.8
東久留米市	52	2.9
武蔵村山市	22	1.2
多摩市	70	3.9
稲城市	34	1.9
羽村市	20	1.1
あきる野市	24	1.3
西東京市	108	6.1

■あなたがお住まいの町村を選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	23	100.0
瑞穂町	8	34.8
日の出町	5	21.7
檜原村	0	0.0
奥多摩町	2	8.7
大島町	2	8.7
利島村	0	0.0
新島村	0	0.0
神津島村	0	0.0
三宅村	0	0.0
御蔵島村	0	0.0
八丈町	1	4.3
青ヶ島村	1	4.3
小笠原村	4	17.4

■あなたの就労状況について、次のうちからあてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
会社・団体（公的機関除く）の社員（正規）	2,063	34.4
会社・団体（公的機関除く）の社員（非正規）・アルバイト ※通学・家事のかたわらに仕事をしている場合も含む	960	16.0
官公庁・公的機関の職員（正規）	145	2.4
官公庁・公的機関の職員（非正規）・アルバイト ※通学・家事のかたわらに仕事をしている場合も含む	131	2.2
会社・団体等の経営者・役員	148	2.5
個人経営の事業主及びその家族従業者、フリーランス	458	7.6
家事への専業 ※収入を伴う仕事をしていないもののみ	692	11.5
通学 ※収入を伴う仕事をしていないもののみ	280	4.7
無職（定年退職後・失業中等）	1,123	18.7

■あなたの、日頃の生活の中での充実感について、次のうちから、あてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
充実感を感じている	668	11.1
どちらかという充実感を感じている	2,661	44.4
どちらかという充実感を感じていない	1,085	18.1
充実感を感じていない	953	15.9
わからない・判断できない・答えたくない	633	10.6

■あなたの、日頃の生活の中での悩みや不安について、次のうちから、あてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
悩みや不安を感じている	1,204	20.1
どちらかという悩みや不安を感じている	2,061	34.4
どちらかという悩みや不安を感じていない	1,406	23.4
悩みや不安を感じていない	800	13.3
わからない・判断できない・答えたくない	529	8.8

■あなたの健康状態（身体的・精神的）について、次のうちから、あてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
健康である（普段の活動には問題はない）	3,883	64.7
普段の活動に若干の制限・不安がある	1,417	23.6
普段の活動に大きな制限がある	235	3.9
わからない・判断できない・答えたくない	465	7.8

■あなたは、新型コロナウイルスの拡大前（2020年2月頃まで）は、次の分野を1年間にどのくらい、美術館・映画館・劇場・音楽堂・屋外のイベント等で直接、鑑賞したり事業に参加したりしていましたか。各分野につき1つずつ選択してください。（単一回答）

	美術	映画	音楽 (ポップス等)	音楽 (オーケストラ等)	ミュージカル	演劇	ダンス	バレエ・現代舞踊	伝統芸能	大衆芸能
回答数										
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
鑑賞していない	4,578	3,630	4,933	5,224	5,378	5,524	5,799	5,738	5,601	5,607
年に1回程度	523	769	412	355	333	215	74	135	206	167
半年に1回程度	403	581	241	209	122	112	42	51	85	94
4ヶ月に1回程度	101	195	79	44	41	37	20	21	22	32
3ヶ月に1回程度	175	300	109	60	47	48	13	18	27	35
2ヶ月に1回程度	116	209	84	55	38	31	13	17	23	25
月に1回以上	104	316	142	53	41	33	39	20	36	40
%										
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
鑑賞していない	76.3	60.5	82.2	87.1	89.6	92.1	96.7	95.6	93.4	93.5
年に1回程度	8.7	12.8	6.9	5.9	5.6	3.6	1.2	2.3	3.4	2.8
半年に1回程度	6.7	9.7	4.0	3.5	2.0	1.9	0.7	0.9	1.4	1.6
4ヶ月に1回程度	1.7	3.3	1.3	0.7	0.7	0.6	0.3	0.4	0.4	0.5
3ヶ月に1回程度	2.9	5.0	1.8	1.0	0.8	0.8	0.2	0.3	0.5	0.6
2ヶ月に1回程度	1.9	3.5	1.4	0.9	0.6	0.5	0.2	0.3	0.4	0.4
月に1回以上	1.7	5.3	2.4	0.9	0.7	0.6	0.7	0.3	0.6	0.7

※音楽（ポップス等）：ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ

音楽（オーケストラ等）：オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱

演劇：現代演劇、児童演劇、人形劇等

ダンス：ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等

バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）

伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

■では、あなたは、各分野をどこで直接、鑑賞したり事業に参加したりしていましたか。あてはまるものを全て選択してください。（複数回答）

	美術	映画	音楽 (ポ プス 等)	音楽 (オー ケスト ラ等)	ミュー ジカル	演劇	ダンス	バレ エ・現 代舞踊	伝統芸 能	大衆芸 能
回答数										
全体	1,422	2,370	1,067	776	622	476	201	262	399	393
美術館・博物館	1,345	40	25	26	24	18	17	19	28	24
映画館	32	2,220	39	26	31	22	20	21	20	18
劇場・音楽堂・ホール	41	67	687	672	554	417	120	210	335	308
公園	23	19	38	21	21	18	24	15	16	18
路上（でのイベント・展示・上演・実演）	28	14	55	24	14	15	28	19	18	24
主に施設で行われる大規模イベント（体育館・アリーナ・ドーム、展示場等）	39	27	346	55	32	22	30	16	18	29
主に屋外で行われる大規模イベント（音楽フェス、芸術祭等）	25	10	165	27	13	11	14	13	15	17
百貨店・ショッピングセンター等の商業施設	164	38	21	13	8	8	10	10	11	17
その他	30	45	96	23	6	7	25	6	15	26
あてはまるものはない	21	52	55	21	16	21	20	13	20	25
%										
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
美術館・博物館	94.6	1.7	2.3	3.4	3.9	3.8	8.5	7.3	7.0	6.1
映画館	2.3	93.7	3.7	3.4	5.0	4.6	10.0	8.0	5.0	4.6
劇場・音楽堂・ホール	2.9	2.8	64.4	86.6	89.1	87.6	59.7	80.2	84.0	78.4
公園	1.6	0.8	3.6	2.7	3.4	3.8	11.9	5.7	4.0	4.6
路上（でのイベント・展示・上演・実演）	2.0	0.6	5.2	3.1	2.3	3.2	13.9	7.3	4.5	6.1
主に施設で行われる大規模イベント（体育館・アリーナ・ドーム、展示場等）	2.7	1.1	32.4	7.1	5.1	4.6	14.9	6.1	4.5	7.4
主に屋外で行われる大規模イベント（音楽フェス、芸術祭等）	1.8	0.4	15.5	3.5	2.1	2.3	7.0	5.0	3.8	4.3
百貨店・ショッピングセンター等の商業施設	12	1.6	2	1.7	1	1.7	5	3.8	3	4.3
その他	2	1.9	9	3	1	1.5	12.4	2.3	4	6.6
あてはまるものはない	2	2.2	5.2	2.7	3	4.4	10	5	5	6.4

※音楽（ポップス等）：ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ

音楽（オーケストラ等）：オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱

演劇：現代演劇、児童演劇、人形劇等

ダンス：ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等

バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）

伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

■あなたは、新型コロナウイルスの拡大以降（2020年3月頃以降）は、次の分野を1年間にどのくらい、美術館・映画館・劇場・音楽堂・屋外のイベント等で直接、鑑賞したり事業に参加したりしていましたか。各分野につき1つずつ選択してください。（単一回答）

	美術	映画	音楽 (ポップス等)	音楽 (オーケストラ等)	ミュージカル	演劇	ダンス	バレエ・現代舞踊	伝統芸能	大衆芸能
回答数										
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
鑑賞していない	5,409	4,644	5,604	5,726	5,755	5,791	5,875	5,862	5,828	5,827
年に1回程度	242	543	149	123	95	79	37	55	70	58
半年に1回程度	148	317	83	56	59	51	21	29	31	45
4ヶ月に1回程度	60	115	38	22	20	20	16	13	15	15
3ヶ月に1回程度	49	131	36	26	27	23	19	10	13	15
2ヶ月に1回程度	44	82	32	23	15	15	10	11	15	18
月に1回以上	48	168	58	24	29	21	22	20	28	22
%										
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
鑑賞していない	90.2	77.4	93.4	95.4	95.9	96.5	97.9	97.7	97.1	97.1
年に1回程度	4.0	9.1	2.5	2.1	1.6	1.3	0.6	0.9	1.2	1.0
半年に1回程度	2.5	5.3	1.4	0.9	1.0	0.9	0.4	0.5	0.5	0.8
4ヶ月に1回程度	1.0	1.9	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3
3ヶ月に1回程度	0.8	2.2	0.6	0.4	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.3
2ヶ月に1回程度	0.7	1.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3
月に1回以上	0.8	2.8	1.0	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.5	0.4

※音楽（ポップス等）：ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ

音楽（オーケストラ等）：オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱

演劇：現代演劇、児童演劇、人形劇等

ダンス：ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等

バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）

伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

■あなたは、新型コロナウイルスの拡大前（2020年2月頃まで）は、次の分野を、1年間にどのくらい、オンライン・サービス（Netflix、Amazonプライム・ビデオ、YouTube、VRサービス等）を通じて鑑賞していましたか。各分野につき1つずつ選択してください。（単一回答）

	美術	映画	音楽 (ポ プス 等)	音楽 (オー ケス トラ 等)	ミュー ジカル	演劇	ダンス	バレ エ・現 代舞踊	伝統芸 能	大衆芸 能
回答数										
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
鑑賞していない	5,469	4,231	5,003	5,487	5,671	5,770	5,779	5,795	5,754	5,688
年に1回程度	162	361	175	129	117	70	52	66	74	68
半年に1回程度	115	257	118	79	64	56	43	38	54	51
4ヶ月に1回程度	58	114	64	49	34	23	34	26	25	34
3ヶ月に1回程度	60	189	84	58	35	28	19	21	25	38
2ヶ月に1回程度	52	188	73	46	36	21	19	22	29	26
月に1回以上	84	660	483	152	43	32	54	32	39	95
%										
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
鑑賞していない	91.2	70.5	83.4	91.5	94.5	96.2	96.3	96.6	95.9	94.8
年に1回程度	2.7	6.0	2.9	2.2	2.0	1.2	0.9	1.1	1.2	1.1
半年に1回程度	1.9	4.3	2.0	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6	0.9	0.9
4ヶ月に1回程度	1.0	1.9	1.1	0.8	0.6	0.4	0.6	0.4	0.4	0.6
3ヶ月に1回程度	1.0	3.2	1.4	1.0	0.6	0.5	0.3	0.4	0.4	0.6
2ヶ月に1回程度	0.9	3.1	1.2	0.8	0.6	0.4	0.3	0.4	0.5	0.4
月に1回以上	1.4	11.0	8.1	2.5	0.7	0.5	0.9	0.5	0.7	1.6

※音楽（ポップス等）：ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ

音楽（オーケストラ等）：オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱

演劇：現代演劇、児童演劇、人形劇等

ダンス：ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等

バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）

伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

■あなたは、新型コロナウイルスの拡大以降（2020年3月頃以降）は、次の分野を、1年間にどのくらい、オンライン・サービス（Netflix、Amazonプライム・ビデオ、YouTube、VRサービス等）を通じて鑑賞していましたか。各分野につき1つずつ選択してください。（単一回答）

	美術	映画	音楽 (ポップス等)	音楽 (オーケストラ等)	ミュージカル	演劇	ダンス	バレエ・現代舞踊	伝統芸能	大衆芸能
回答数										
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
鑑賞していない	5,635	4,265	4,967	5,518	5,723	5,768	5,783	5,787	5,786	5,699
年に1回程度	95	270	140	95	71	62	48	58	63	51
半年に1回程度	75	188	103	59	57	37	32	29	33	35
4ヶ月に1回程度	49	107	72	38	36	32	27	36	27	35
3ヶ月に1回程度	37	171	83	57	22	37	29	27	26	45
2ヶ月に1回程度	36	175	78	47	37	23	22	17	27	28
月に1回以上	73	824	557	186	54	41	59	46	38	107
%										
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
鑑賞していない	93.9	71.1	82.8	92.0	95.4	96.1	96.4	96.5	96.4	95.0
年に1回程度	1.6	4.5	2.3	1.6	1.2	1.0	0.8	1.0	1.1	0.9
半年に1回程度	1.3	3.1	1.7	1.0	1.0	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6
4ヶ月に1回程度	0.8	1.8	1.2	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.6
3ヶ月に1回程度	0.6	2.9	1.4	1.0	0.4	0.6	0.5	0.5	0.4	0.8
2ヶ月に1回程度	0.6	2.9	1.3	0.8	0.6	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5
月に1回以上	1.2	13.7	9.3	3.1	0.9	0.7	1.0	0.8	0.6	1.8

※音楽（ポップス等）：ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ

音楽（オーケストラ等）：オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱

演劇：現代演劇、児童演劇、人形劇等

ダンス：ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等

バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）

伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

■あなたは、現在、次の分野を鑑賞したり事業に参加することに関心はありますか。次のうちから、関心があるものを全て選択してください。（複数回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
美術	1,615	26.9
映画	3,017	50.3
音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）	2,035	33.9
音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）	1,239	20.7
ミュージカル	1,023	17.1
演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）	617	10.3
ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）	387	6.5
バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）	397	6.6
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）	646	10.8
大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）	729	12.2
上記のいずれにも関心がない	1,844	30.7

■あなたは、芸術文化を鑑賞したり事業に参加する際の東京都の環境（文化施設・文化事業の充実度等）について、どのように評価しますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6000	100.0
整っている	846	14.1
どちらかという整っている	2235	37.3
どちらかという整っていない	600	10.0
整っていない	377	6.3
わからない・判断できない	1942	32.4

■あなたが介護・介助されている家族が、芸術文化を鑑賞したり事業に参加する際の東京都の環境（文化施設・文化事業の充実度等）について、どのように評価しますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	312	100.0
整っている	40	12.8
どちらかという整っている	79	25.3
どちらかという整っていない	56	17.9
整っていない	44	14.1
わからない・判断できない	93	29.8

■では、あなたは、現在、芸術文化を鑑賞したり事業に参加することに関心をお持ちなのものの、新型コロナウイルスの拡大前（2020年2月頃まで）に各種分野を直接・リアルに鑑賞したり事業に参加したりしなかったのはどうしてですか。理由としてあてはまるものを次のうちから全て選択してください。（複数回答）

	回答数	%
全体	1,467	100.0
近くで展覧会・公演等を行っていなかったから	136	9.3
関心がある展覧会・公演等がなかったから	242	16.5
仕事・家事・学業で忙しく行く時間がなかったから	253	17.2
他の趣味や社会活動で忙しく行く時間がなかったから	133	9.1
育児や介護を行っているので行くことが難しいから	65	4.4
入場料・交通費などの費用がかさみ負担だから	280	19.1
一緒に行く仲間がいないから	171	11.7
行きたい展覧会・公演等がテレビ番組を通じて鑑賞できたから	75	5.1
行きたい展覧会・公演等がオンライン・サービスを通じて鑑賞できたから	55	3.7
行きたい展覧会・公演等が人気でチケットが取れない・取りづらいから	97	6.6
行きたい展覧会・公演等が人気で会場が混雑しているから	106	7.2
行きたい展覧会・公演等が夜間等の行ける時間に行われていないから	68	4.6
行きたい展覧会・公演等のバリアフリー・託児等の環境が十分に整っていないから	31	2.1
当時は芸術文化を鑑賞したり事業に参加することに関心がなかったから	108	7.4
その他	160	10.9

■あなたは、次の分野の創作や実演について、過去や現在、趣味や仕事にしていますか。各分野につきあてはまるものを全て選択してください。（複数回答）

	美術品の制作	写真の撮影	映画の制作	音楽（ポップス等）	音楽（オーケストラ等）	ミュージカル・演劇	ダンス	バレエ・現代舞踊	伝統芸能	大衆芸能
回答数										
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
趣味にも仕事にもしていない	5,649	5,355	5,892	5,203	5,543	5,746	5,801	5,867	5,827	5,792
現在、趣味にしている	226	484	61	624	297	171	117	74	107	149
現在、仕事にしている	21	27	19	30	21	9	14	8	10	7
現在はそうではないが、過去に趣味にしていた	101	134	18	134	124	56	69	49	50	44
現在はそうではないが、過去に仕事にしていた	18	21	14	25	22	20	7	4	8	12
%										
全体	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
趣味にも仕事にもしていない	94.2	89.3	98.2	86.7	92.4	95.8	96.7	97.8	97.1	96.5
現在、趣味にしている	3.8	8.1	1.0	10.4	5.0	2.9	2.0	1.2	1.8	2.5
現在、仕事にしている	0.4	0.5	0.3	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1
現在はそうではないが、過去に趣味にしていた	1.7	2.2	0.3	2.2	2.1	0.9	1.2	0.8	0.8	0.7
現在はそうではないが、過去に仕事にしていた	0.3	0.4	0.2	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2

※美術品の制作：美術品（絵画、彫刻、映像作品等）、工芸、陶芸の制作

音楽（ポップス等）：音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）※カラオケ、歌唱、楽器の演奏を含む

音楽（オーケストラ等）：音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）※楽器の演奏を含む

ミュージカル・演劇：ミュージカル・演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）

ダンス：ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）

バレエ・現代舞踊：バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）

伝統芸能：伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

大衆芸能：大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

■あなたは、次の分野の創作や実演を行う際の東京都の環境（創作・練習場所、発表場所の充実度等）について、どのように評価しますか。各分野につき1つずつ選択してください。（単一回答）

	美術品の制作	写真の撮影	映画の制作	音楽（ポップス等）	音楽（オーケストラ等）	ミュージカル・演劇	ダンス	バレエ・現代舞踊	伝統芸能	大衆芸能
回答数										
全体	237	499	79	646	315	180	127	81	116	154
整っている	73	100	21	156	78	46	27	18	34	40
どちらかという整っている	83	168	27	274	142	76	49	37	43	64
どちらかという整っていない	24	61	10	65	37	28	23	14	16	23
整っていない	21	27	7	37	19	10	9	10	11	6
わからない・判断できない	36	143	14	114	39	20	19	2	12	21
%										
全体	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
整っている	30.8	20.0	26.6	24.1	24.8	25.6	21.3	22.2	29.3	26.0
どちらかという整っている	35.0	33.7	34.2	42.4	45.1	42.2	38.6	45.7	37.1	41.6
どちらかという整っていない	10.1	12.2	12.7	10.1	11.7	15.6	18.1	17.3	13.8	14.9
整っていない	8.9	5.4	8.9	5.7	6.0	5.6	7.1	12.3	9.5	3.9
わからない・判断できない	15.2	28.7	17.7	17.6	12.4	11.1	15.0	2.5	10.3	13.6

※美術品の制作：美術品（絵画、彫刻、映像作品等）、工芸、陶芸の制作

音楽（ポップス等）：音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ） ※カラオケ、歌唱、楽器の演奏を含む

音楽（オーケストラ等）：音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱） ※楽器の演奏を含む

ミュージカル・演劇：ミュージカル・演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）

ダンス：ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）

バレエ・現代舞踊：バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）

伝統芸能：伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

大衆芸能：大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

■あなたは、次の分野の創作や実演に関心がありますか。関心があるものを全て選択してください。（複数回答）

	回答数	%
全体	5,969	100.0
美術品（絵画、彫刻、映像作品等）、工芸、陶芸の制作	589	9.9
写真の撮影	533	8.9
映画の制作	317	5.3
音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ） ※カラオケ、歌唱、楽器の演奏を含む	676	11.3
音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱） ※楽器の演奏を含む	522	8.7
ミュージカル・演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）	342	5.7
ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）	209	3.5
バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）	191	3.2
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）	297	5.0
大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）	308	5.2
上記のいずれにも関心がない	3,921	65.7

■同居するあなたのお子様は、2019年の1年間に、文化施設・学校・屋外のイベント等で次の分野を直接鑑賞しましたか。あてはまるものを全て選択してください。（複数回答）

	回答数	%
全体	616	100.0
美術	42	6.8
映画	201	32.6
音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）	39	6.3
音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）	41	6.7
ミュージカル	37	6.0
演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）	20	3.2
ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）	21	3.4
バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）	14	2.3
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）	26	4.2
大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）	18	2.9
上記のいずれも鑑賞していない	166	26.9
わからない・判断できない	173	28.1

■同居するあなたのお子様は次の分野の鑑賞や創作・実演に関心を持たれていますか。あてはまるものを全て選択してください。（複数回答）

	回答数	%
全体	616	100.0
美術	50	8.1
映画	191	31.0
音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）※カラオケ、歌唱、楽器の演奏を含む	125	20.3
音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）※楽器の演奏を含む	49	8.0
ミュージカル	44	7.1
演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）	11	1.8
ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）	45	7.3
バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）	18	2.9
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）	13	2.1
大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）	25	4.1
上記のいずれにも関心がない	143	23.2
わからない・判断できない	167	27.1

■あなたは、人々にとって芸術文化は重要だと考えますか。それとも重要ではないと考えますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
重要である	1,947	32.5
どちらかというとも重要である	2,417	40.3
どちらかというとも重要ではない	407	6.8
重要ではない	226	3.8
わからない・判断できない	1,003	16.7

■では、あなた自身にとって芸術文化はどのような存在ですか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
なくてはならないものである	1,322	22.0
どちらかというとも、なくてはならないものである	2,145	35.8
どちらかというとも、なくてはならないものではない	876	14.6
なくてはならないものではない	600	10.0
わからない・判断できない	1,057	17.6

■あなたは、芸術文化は、次の視点において重要な役割を持つと思いますか。それとも思いませんか。各視点についてあてはまるものを1つずつ選択してください。（単一回答）

	人々に感動を与えること	人々の生活の質を向上させること	人々の生きる活力を生むこと	人々の心の傷を癒やすこと・ストレスを解消すること	人々の絆を強くすること	人々の創造力を豊かにさせること	人々が多様な考え方を持つことを認識・理解すること	国籍が異なる人々の文化を認識・理解すること	人々が自分の国や地域を誇りに思うこと
回答数									
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
思う	4,685	3,263	4,134	4,368	2,697	4,282	3,823	3,861	3,539
思わない	394	939	573	497	1,074	537	681	669	740
わからない・判断できない	921	1,798	1,293	1,135	2,229	1,181	1,496	1,470	1,721
%									
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
思う	78.1	54.4	68.9	72.8	45.0	71.4	63.7	64.4	59
思わない	6.6	15.7	9.6	8.3	17.9	9.0	11.4	11.2	12
わからない・判断できない	15.4	30.0	21.6	18.9	37.2	19.7	24.9	24.5	29

■あなたは、経済やビジネスに関する次の視点において、芸術文化は重要な役割を持つと思いますか。それとも思いませんか。各視点についてあてはまるものを1つずつ選択してください。（単一回答）

	観光地としての魅力を向上させること	産業全体の付加価値を向上させること	企業のブランド・イメージを向上させること	個々のビジネスマンが働きやすくなること・ストレスを軽減すること	個々のビジネスマンに刺激を与えること	ビジネス上のコミュニケーションを円滑化・促進させること
回答数						
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
思う	4,006	3,426	3,320	2,803	2,789	2,866
思わない	596	843	891	1,055	1,049	976
わからない・判断できない	1,398	1,731	1,789	2,142	2,162	2,158
%						
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
思う	66.8	57.1	55.3	46.7	46.5	47.8
思わない	9.9	14.1	14.9	17.6	17.5	16.3
わからない・判断できない	23.3	28.9	29.8	35.7	36.0	36.0

■あなたは、国・自治体の予算を「芸術文化の振興」に優先的に振り分けるべきだと考えますか。それとも振り分けるべきではないと考えますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
優先的に振り分けるべきである	492	8.2
どちらかというと優先的に振り分けるべきである	1,951	32.5
どちらかというと優先的に振り分けるべきではない	1,040	17.3
優先的に振り分けるべきではない	544	9.1
わからない・判断できない	1,973	32.9

■あなたは、芸術文化の次の事柄について、国・自治体の予算を使って積極的に行うべきだと考えますか。それとも行うべきではないと考えますか。各視点につき1つずつ選択してください。（単一回答）

	公立の美術館・博物館の運営	公立の劇場・音楽堂・ホールの運営	著名な団体・芸術家・アーティストの支援	国際的に賞を取るなどして評価されている芸術家・アーティストの支援	あなたが関心がある分野の団体・芸術家・アーティストの支援	有名な芸術大学を卒業した芸術家・アーティストの活動の支援	採算が取りづらい舞台芸術分野で活動をしている団体の支援	日本固有の分野で活動している団体・芸術家・アーティストの支援	将来性のある団体・芸術家・アーティストの活動の支援	団体・芸術家・アーティストを目指す人々全般の支援
回答数										
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
積極的に行うべきである	1,391	1,241	736	891	771	693	959	1,207	1,053	914
どちらかというとも積極的に行うべきである	2,472	2,498	1,623	1,974	1,748	1,677	2,120	2,224	2,174	2,023
どちらかというとも積極的に行うべきでない	567	645	1,144	892	983	1,064	847	710	795	888
積極的に行うべきでない	216	250	575	438	422	521	372	331	332	368
わからない・判断できない	1,354	1,366	1,922	1,805	2,076	2,045	1,702	1,528	1,646	1,807
%										
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
積極的に行うべきである	23.2	20.7	12.3	14.9	12.9	11.6	16.0	20.1	17.6	15.2
どちらかというとも積極的に行うべきである	41.2	41.6	27.1	32.9	29.1	28.0	35.3	37.1	36.2	33.7
どちらかというとも積極的に行うべきでない	9.5	10.8	19.1	14.9	16.4	17.7	14.1	11.8	13.3	14.8
積極的に行うべきでない	3.6	4.2	9.6	7.3	7.0	8.7	6.2	5.5	5.5	6.1
わからない・判断できない	22.6	22.8	32.0	30.1	34.6	34.1	28.4	25.5	27.4	30.1

※著名：例）テレビ等での露出が多い

採算が取りづらい舞台芸術分野：例）オーケストラ、オペラ、演劇、バレエ、コンテンポラリーダンス等

日本固有の分野：例）伝統芸能、大衆芸能

将来性のある：例）若手を対象とした賞の受賞、専門家による高評価等

■あなたの美術品を居住空間に飾ることへの関心について、次のうちからあてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
関心がある	645	10.8
どちらかというに関心がある	1,612	26.9
どちらかというに関心がない	1,311	21.9
関心がない	1,462	24.4
わからない・判断できない	970	16.2

■あなたの美術品の購入の経験について、次のうちからあてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
購入したことがない	4,296	71.6
購入したことがあり、直近3年以内にも購入している	348	5.8
購入したことがあるが、直近3年以内には購入していない	1,356	22.6

■あなたは、美術品を居住空間に飾ることに関心をお持ちですが、これまで購入されなかった理由はどのようなものですか。次のうちからあてはまるものを全て選択してください。（複数回答）

	回答数	%
全体	1,299	100.0
購入する資金の余裕がないから	794	61.1
飾る場所・置く場所がないから	569	43.8
維持管理が難しそうだから	333	25.6
購入の判断基準が分からないから	191	14.7
欲しい作品に出会わなかったから	170	13.1
偽物を買ってしまうのが怖いから	115	8.9
価格に見合った価値がないから	59	4.5
どこで購入すればいいか分からないから	96	7.4
不要になった際の処分が大変だから	87	6.7
家族の同意が得られにくいから	51	3.9
その他	35	2.7
特に理由はない	144	11.1

■あなたの今後の美術品の購入への関心について、次のうちからあてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
関心がある	458	7.6
どちらかというに関心がある	1,202	20.0
どちらかというに関心がない	1,295	21.6
関心がない	2,118	35.3
わからない・判断できない	927	15.5

■あなたのお子様が、例えば、17~18歳になった頃に、「将来は芸術家・アーティストになることを本気で目指したい」とおっしゃった場合、あなたは、それを積極的に応援したいと思えますか、それとも、思いませんか。（単一回答）

	回答数	%
全体	2,908	100.0
応援したい	502	17.3
どちらかというに応援したい	1,035	35.6
どちらかというに応援したくない	331	11.4
応援したくない	239	8.2
わからない・判断できない	801	27.5

■次の芸術家・アーティストは社会的に重要な存在であると思いますか。もしくは、思いませんか。各視点について1つずつ選択してください。（単一回答）

	著名 (テレビ等で の露出が多 い)な 芸術家・ アーティスト	国際的 に賞を取 るな どして 評価さ れている 芸術家・ アーティスト	あなた が関心 がある 分野の 芸術家・ アーティスト	有名な 芸術大 学を卒 業して いる芸 術家・ アーティスト	芸術活 動によ り生計 をたて られて いるプ ロの芸 術家・ アーティスト	芸術活 動によ り生計 をたて られて いない 人も含 めた芸 術家・ アーティスト全般
回答数						
全体	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
社会的に重要な存在である	960	1,357	930	703	895	782
どちらかという社会的に重要な存在である	2,142	2,318	2,032	1,700	2,177	1,854
どちらかという社会的に重要な存在ではない	667	469	676	954	696	822
社会的に重要な存在ではない	348	258	314	438	313	384
わからない・判断できない	1,883	1,598	2,048	2,205	1,919	2,158
%						
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
社会的に重要な存在である	16	23	16	12	15	13
どちらかという社会的に重要な存在である	35.7	38.6	33.9	28.3	36.3	30.9
どちらかという社会的に重要な存在ではない	11.1	7.8	11.3	15.9	11.6	13.7
社会的に重要な存在ではない	5.8	4.3	5.2	7.3	5.2	6.4
わからない・判断できない	31.4	26.6	34.1	36.8	32.0	36.0

■芸術に関する現在及びこれまでの環境として、次のうちからあてはまるものを全て選択してください。（複数回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
芸術家・アーティストの知り合い・友人がいる・いた	952	15.9
芸術家・アーティストの家族・親族がいる・いた	391	6.5
美術の鑑賞を趣味としていた家族・親族がいる・いた	573	9.6
舞台芸術（演劇・音楽等）の鑑賞を趣味としていた家族・親族がいる・いた	383	6.4
子供の頃（18歳くらいまで）の居住空間に美術品が飾ってあった	502	8.4
子供の頃（18歳くらいまで）の居住空間で良く音楽が流れていた（あなたご自身で流していたわけではないもの）	532	8.9
子供の頃（18歳くらいまで）の居住空間で良く音楽が流れていた（あなたご自身で流していたもの）	670	11.2
子供の頃（18歳くらいまで）に博物館・美術館等で美術の鑑賞を良く行っていた	546	9.1
子供の頃（18歳くらいまで）に劇場・音楽堂・ホール等で舞台芸術の鑑賞（演劇・音楽等）を良く行っていた	507	8.5
上記のいずれにもあてはまらない	3,950	65.8

■あなたの、寄付の経験と今後の意向について、次のうちからあてはまるものを1つだけ選択してください。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
寄付をしたことがある	1,652	27.5
寄付をしたことがないが、今後は寄付をしたい	696	11.6
寄付をしたことがなく、今後も寄付をしたくない	2,027	33.8
わからない・判断できない	1,625	27.1

■あなたは、芸術文化を対象とした寄付の経験と今後の意向について、各対象についてあてはまるものを1つずつ選択してください。（単一回答）

	芸術文化施設	芸術文化団体	芸術家・アーティスト	芸術文化の事業・イベント	その他の芸術文化の対象
回答数					
全体	2,348	2,348	2,348	2,348	2,348
寄付をしたことがある	185	167	188	174	160
寄付をしたことがないが、今後は寄付をしたい	642	624	643	625	553
寄付をしたことがなく、今後も寄付をしたいとは思わない	781	777	750	773	768
わからない・判断できない	740	780	767	776	867
%					
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
寄付をしたことがある	7.9	7.1	8.0	7.4	6.8
寄付をしたことがないが、今後は寄付をしたい	27.3	26.6	27.4	26.6	23.6
寄付をしたことがなく、今後も寄付をしたいとは思わない	33.3	33.1	31.9	32.9	32.7
わからない・判断できない	31.5	33.2	32.7	33.0	36.9

■あなたは芸術家・アーティストと直接会話したり・接したりする機会はどのくらいありますか。（単一回答）

	回答数	%
全体	6,000	100.0
しばしばある	215	3.6
たまにある	650	10.8
ほとんどない	1,273	21.2
まったくない	3,234	53.9
わからない・判断できない	628	10.5

■あなたの、ボランティア活動の経験と今後の意向について、次のうちからあてはまるものを1つずつ選択してください。（単一回答）

	一般的 なボラ ンティ ア活動	専門的 知識や 技術を 活かし たボラ ンティ ア活動 (プロ ボノ 等)
回答数		
全体	6,000	6,000
経験したことがある	1,720	442
経験したことがないが、今後は経験したい	994	1,214
経験したことがなく、今後も経験したいとは思わない	2,124	2,797
わからない・判断できない	1,162	1,547
%		
全体	100.0	100.0
経験したことがある	28.7	7.4
経験したことがないが、今後は経験したい	16.6	20.2
経験したことがなく、今後も経験したいとは思わない	35.4	46.6
わからない・判断できない	19.4	25.8

■あなたは、芸術文化を対象としたボランティア活動の経験と今後の意向について、次のうちからあてはまるものを1つずつ選択してください。※ここでの芸術文化とは美術・音楽・演劇・舞踊等の分野をさします。（単一回答）

	芸術文 化施設	芸術文 化団体	芸術 家・ アー ティス ト	芸術文 化の事 業・イ ベント	その他 の芸術 文化の 対象
回答数					
全体	2,827	2,827	2,827	2,827	2,827
経験したことがある	172	144	149	170	147
経験したことがないが、今後は経験したい	836	780	776	857	767
経験したことがなく、今後も経験したいとは思わない	1,091	1,135	1,115	1,056	1,097
わからない・判断できない	728	768	787	744	816
%					
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
経験したことがある	6.1	5.1	5.3	6.0	5.2
経験したことがないが、今後は経験したい	29.6	27.6	27.4	30.3	27.1
経験したことがなく、今後も経験したいとは思わない	38.6	40.1	39.4	37.4	38.8
わからない・判断できない	25.8	27.2	27.8	26.3	28.9

5. 「新文化戦略に関する芸術文化団体・アーティスト等アンケート」単純集計結果

【調査の概要】

- ・実施期間：2021年1月19日~2月10日
- ・実施方法：東京都が保有するアーティストや芸術文化関連従事者、芸術文化団体のリストに基づく直接の案内、統括団体を通じた案内等によりアンケートの実施を周知し、インターネット・アンケート上にて回答
- ・対象者：都内に居住、都内で作品創作・練習、都内を主な作品の発表場所としているアーティストや芸術文化関連従事者、芸術文化団体（公共の劇場・ホール等を除く）
- ・有効回収数：1,696人（※上記対象者のうち、芸術文化の活動を行っており、収入もある1,412人を評価対象としている。）
- ・調査方法設計、調査票設計・集計：一般社団法人芸術と創造

【単純集計結果】

■あなたの性別を選択してください。（単一回答）

	全回答		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,696	100.0	1,412	100.0
男性	879	51.8	742	52.5
女性	802	47.3	659	46.7
その他	15	0.9	11	0.8

■あなたの年齢を選択してください。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,696	100.0	1,412	100.0
20~24歳	17	1.0	8	0.6
25~29歳	94	5.5	73	5.2
30~34歳	137	8.1	118	8.4
35~39歳	214	12.6	175	12.4
40~44歳	219	12.9	185	13.1
45~49歳	266	15.7	228	16.1
50~54歳	249	14.7	220	15.6
55~59歳	214	12.6	178	12.6
60~64歳	144	8.5	123	8.7
65~69歳	88	5.2	68	4.8
70歳~	54	3.2	36	2.5

■あなたが住まいの都道府県を選択してください。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,696	100.0	1,412	100.0
東京都	1,253	73.9	1,126	79.7
神奈川県	200	11.8	145	10.3
埼玉県	95	5.6	62	4.4
千葉県	68	4.0	46	3.3
山梨県	5	0.3	3	0.2
茨城県	6	0.4	4	0.3
栃木県	0	0.0	0	0.0
群馬県	3	0.2	2	0.1
長野県	5	0.3	3	0.2
静岡県	6	0.4	3	0.2
愛知県・岐阜県・三重県	4	0.2	3	0.2
大阪府・兵庫県・京都府	20	1.2	4	0.3
その他の都道府県	25	1.5	8	0.6
国外	6	0.4	3	0.2

■あなたは結婚していますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,696	100.0	1,412	100.0
未婚	660	39.0	531	37.6
既婚（離別・死別含む）	1,036	61.0	881	62.4

■あなたは、現在、世帯をともにしている人がいますか。あてはまるものを全て選択してください。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,696	100.0	1,412	100.0
あなたの配偶者	897	52.9	764	54.1
あなたのお子様	436	25.7	376	26.6
あなたの親	235	13.9	197	14.0
あなたの祖父母	10	0.6	9	0.6
あなたの兄弟	55	3.2	40	2.8
その他	139	8.2	114	8.1
同居している家族はいない（1人世帯）	446	26.3	365	25.8

■あなたは、16歳以降に卒業した学校において芸術文化に関する学部・コースを専攻していましたか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,696	100.0	1,412	100.0
専攻していた	919	54.2	784	55.5
専攻していない	757	44.6	611	43.3
わからない・判断できない	20	1.2	17	1.2

■あなたは、現在、芸術文化に関する活動・仕事をしていますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,696	100.0	1,412	100.0
している	1,640	96.7	1,412	100.0
していない	56	3.3	0	0.0

■あなたは、現在、芸術文化に関する活動・仕事からの収入はありますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,640	100.0	1,412	100.0
ある	1,510	92.1	1,412	100.0
ない	130	7.9	0	0.0

■あなたは、どのような分野に関係する活動・仕事を行っていますか。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,640	100.0	1,412	100.0
美術（絵画、彫刻、映像作品、写真、工芸、陶芸等）	253	15.4	206	14.6
映画、映像 ※除くアニメ	336	20.5	278	19.7
マンガ、アニメ	61	3.7	54	3.8
文学（小説、詩）※除く俳句・川柳・短歌等	47	2.9	39	2.8
デザイン（建築、服飾、プロダクトデザイン等）	85	5.2	70	5.0
音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ等）	554	33.8	500	35.4
音楽（クラシック音楽）	384	23.4	352	24.9
演劇（ミュージカル、現代演劇、児童演劇、人形劇等）	591	36.0	502	35.6
ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等	76	4.6	68	4.8
バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス	155	9.5	127	9.0
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明、日本舞踊等）	165	10.1	138	9.8
演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）	113	6.9	100	7.1
生活文化（いけばな・茶、俳句・川柳・短歌、将棋・囲碁・かるた、合唱、民謡、太鼓等）	41	2.5	34	2.4
その他の分野	135	8.2	102	7.2
芸術文化の全ての分野（文化政策・文化行政等）	26	1.6	17	1.2

■では、そのなかから、活動・仕事の主体とする分野を1つだけ選択してください。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,614	100.0	1,395	100.0
美術（絵画、彫刻、映像作品、写真、工芸、陶芸等）	144	8.9	119	8.5
映画、映像 ※除くアニメ	112	6.9	80	5.7
マンガ、アニメ	15	0.9	14	1.0
文学（小説、詩）※除く俳句・川柳・短歌等	4	0.2	2	0.1
デザイン（建築、服飾、プロダクトデザイン等）	19	1.2	14	1.0
音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ等）	380	23.5	352	25.2
音楽（クラシック音楽）	252	15.6	238	17.1
演劇（ミュージカル、現代演劇、児童演劇、人形劇等）	377	23.4	316	22.7
ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等	27	1.7	26	1.9
バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス	68	4.2	55	3.9
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明、日本舞踊等）	88	5.5	77	5.5
演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）	66	4.1	62	4.4
生活文化（いけばな・茶、俳句・川柳・短歌、将棋・囲碁・かるた、合唱、民謡、太鼓等）	7	0.4	6	0.4
その他の分野	55	3.4	34	2.4

■あなたは、どのような役割にて芸術文化に関する活動・仕事をしていますか。 ※美術系を活動の主体としている人（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	144	100.0	119	100.0
作品の創作 ※含む創作のアシスタント	117	81.3	101	84.9
作品の創作のための技術的な専門分野（制作のための道具・材料の製作等）	19	13.2	18	15.1
展覧会・イベント（アートプロジェクト等）の企画・運営	60	41.7	52	43.7
その他事業（教育普及事業等）の企画・運営	24	16.7	20	16.8
展覧会・イベント・その他事業の広報	28	19.4	22	18.5
作品の維持・管理・修復	11	7.6	9	7.6
芸術文化に係る調査研究	15	10.4	12	10.1
教育・教授（教員・講師・インストラクター等）	43	29.9	38	31.9
作品の販売	54	37.5	49	41.2
団体の管理・運営	10	6.9	10	8.4
施設の管理・運営	5	3.5	4	3.4
中間支援的活動（アーティスト・文化団体等の支援等）	12	8.3	10	8.4
その他	2	1.4	2	1.7

■あなたは、どのような役割にて芸術文化に関する活動・仕事をしていますか。 ※舞台芸術系を活動の主体としている人（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,258	100.0	1,126	100.0
作品の創作（脚本執筆、作曲、演出、振付等） ※含む創作のアシスタント	598	47.5	540	48.0
作品の実演・出演・演奏	934	74.2	865	76.8
作品の創作・実演に係る技術的な専門分野（大道具・小道具、衣装、照明・音響、舞台監督等）	232	18.4	197	17.5
公演の企画・制作	727	57.8	659	58.5
その他事業（教育普及事業等）の企画・制作	235	18.7	208	18.5
公演・その他事業の広報	297	23.6	264	23.4
芸術文化に係る調査研究	79	6.3	64	5.7
教育・教授（教員・講師・インストラクター等）	431	34.3	411	36.5
公演のチケット・作品の営業・販売	301	23.9	274	24.3
団体の管理・運営	352	28.0	318	28.2
施設の管理・運営	85	6.8	77	6.8
中間支援的活動（アーティスト・文化団体等の支援等）	87	6.9	76	6.7
その他	45	3.6	37	3.3

■あなたは、芸術文化に関する活動・仕事をどのような形で行っていますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,640	100.0	1,412	100.0
主に個人として活動している	959	58.5	825	58.4
主に団体の一員・メンバーとして活動している	681	41.5	587	41.6

■では、その団体の法人形態はどのようなものですか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	681	100.0	587	100.0
任意団体 ※除く実行委員会・協議会・組合	182	26.7	156	26.6
実行委員会・協議会・組合	11	1.6	7	1.2
株式会社・有限会社・合同会社・合資会社	280	41.1	256	43.6
特定非営利活動法人（NPO）	28	4.1	24	4.1
地方自治体・公的機関が主体となり設立された財団法人・社団法人	35	5.1	27	4.6
個人・民間企業が主体となり設立された財団法人・社団法人	68	10.0	63	10.7
学校法人・宗教法人・社会福祉法人・医療法人	8	1.2	6	1.0
国・地方公共団体・独立行政法人	15	2.2	9	1.5
その他	32	4.7	24	4.1
わからない・判断できない	22	3.2	15	2.6

■その団体は主にどのような活動を行っている団体ですか。あてはまるものを全て選択してください。 ※美術系を活動の主体としている人（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	25	100.0	20	100.0
作品の創作	8	32.0	5	25.0
事業の企画・実施	17	68.0	12	60.0
作品の販売・管理	9	36.0	7	35.0
作品の創作に関する技術の提供（制作のための道具・材料の製作等）	3	12.0	3	15.0
広報・宣伝	7	28.0	6	30.0
施設の管理・運営	6	24.0	5	25.0
中間支援的活動（アーティスト・文化団体等の支援等）	6	24.0	5	25.0
その他の事業実施に関するサービス	4	16.0	4	20.0
文化芸術に係る調査研究	5	20.0	5	25.0
教育・教授	5	20.0	4	20.0
その他	3	12.0	2	10.0

■その団体は主にどのような活動を行っている団体ですか。あてはまるものを全て選択してください。 ※舞台芸術系を活動の主体としている人（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	555	100.0	490	100.0
作品の創作・実演	420	75.7	378	77.1
事業の企画・実施	392	70.6	351	71.6
チケットの販売・管理	298	53.7	268	54.7
作品の創作に関する技術の提供（大道具・小道具、衣装、照明・音響、舞台監督等）	142	25.6	124	25.3
広報・宣伝	252	45.4	227	46.3
施設の管理・運営	101	18.2	88	18.0
中間支援的活動（アーティスト・文化団体等の支援等）	87	15.7	82	16.7
その他の事業実施に関するサービス	71	12.8	63	12.9
文化芸術に係る調査研究	41	7.4	38	7.8
教育・教授	137	24.7	127	25.9
その他	30	5.4	27	5.5

■その団体が所在する都道府県を選択してください。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	681	100.0	587	100.0
東京都	596	87.5	549	93.5
神奈川県	34	5.0	18	3.1
埼玉県	13	1.9	10	1.7
千葉県	7	1.0	2	0.3
山梨県	1	0.1	1	0.2
茨城県	1	0.1	1	0.2
栃木県	0	0.0	0	0.0
群馬県	2	0.3	0	0.0
長野県	0	0.0	0	0.0
静岡県	4	0.6	1	0.2
愛知県・岐阜県・三重県	0	0.0	0	0.0
大阪府・兵庫県・京都府	11	1.6	3	0.5
その他の都道府県	10	1.5	1	0.2
国外	2	0.3	1	0.2

■その団体が、芸術文化に係る活動において主に発表場所としている都道府県を選択してください。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	428	100.0	383	100.0
東京都	416	97.2	381	99.5
神奈川県	94	22.0	83	21.7
埼玉県	59	13.8	54	14.1
千葉県	43	10.0	39	10.2
山梨県	29	6.8	26	6.8
茨城県	28	6.5	25	6.5
栃木県	29	6.8	26	6.8
群馬県	31	7.2	27	7.0
長野県	31	7.2	27	7.0
静岡県	38	8.9	33	8.6
愛知県・岐阜県・三重県	60	14.0	54	14.1
大阪府・兵庫県・京都府	81	18.9	71	18.5
その他の都道府県	81	18.9	73	19.1
国外	41	9.6	35	9.1

■その団体が、芸術文化に係る活動において主に創作・練習場所としている都道府県を選択してください。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	428	100.0	383	100.0
東京都	405	94.6	370	96.6
神奈川県	48	11.2	41	10.7
埼玉県	22	5.1	20	5.2
千葉県	10	2.3	8	2.1
山梨県	3	0.7	2	0.5
茨城県	2	0.5	1	0.3
栃木県	1	0.2	0	0.5
群馬県	4	0.9	2	0.0
長野県	2	0.5	1	0.3
静岡県	9	2.1	6	1.6
愛知県・岐阜県・三重県	7	1.6	6	1.6
大阪府・兵庫県・京都府	16	3.7	11	2.9
その他の都道府県	15	3.5	12	3.1
国外	8	1.9	7	1.8

■あなたが、芸術文化に係る活動において主に創作・練習場所としている都道府県を選択してください。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	742	100.0	684	100.0
東京都	708	95.4	662	96.8
神奈川県	151	20.4	138	20.2
埼玉県	64	8.6	61	8.9
千葉県	64	8.6	60	8.8
山梨県	11	1.5	11	1.6
茨城県	13	1.8	12	1.8
栃木県	9	1.2	9	1.3
群馬県	9	1.2	9	1.3
長野県	20	2.7	19	2.8
静岡県	8	1.1	7	1.0
愛知県・岐阜県・三重県	19	2.6	19	2.8
大阪府・兵庫県・京都府	37	5.0	33	4.8
その他の都道府県	34	4.6	29	4.2
国外	25	3.4	21	3.1

■あなたが、芸術文化に係る活動において主に発表場所として
いる都道府県をお答えください。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	742	100.0	684	100.0
東京都	721	97.2	673	98.4
神奈川県	213	28.7	196	28.7
埼玉県	109	14.7	106	15.5
千葉県	99	13.3	96	14.0
山梨県	40	5.4	39	5.7
茨城県	45	6.1	43	6.3
栃木県	38	5.1	37	5.4
群馬県	36	4.9	35	5.1
長野県	44	5.9	42	6.1
静岡県	45	6.1	42	6.1
愛知県・岐阜県・三重県	75	10.1	72	10.5
大阪府・兵庫県・京都府	103	13.9	97	14.2
その他の都道府県	120	16.2	112	16.4
国外	82	11.1	77	11.3

■あなたは、その団体の代表者ですか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	365	100.0	334	100.0
代表者である	174	47.7	165	49.4
代表者ではない	189	51.8	167	50.0
わからない・判断できない	2	0.5	2	0.6

■あなたは、その団体の収支や補助金・助成金の申請状況を把握
していますか。（団体の収支）（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	211	100.0	199	100.0
把握している	150	71.1	144	72.4
把握していない	44	20.9	39	19.6
わからない・判断できない	17	8.1	16	8.0

■あなたは、その団体の収支や補助金・助成金の申請状況を把握
していますか。（補助金・助成金）（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	211	100.0	199	100.0
把握している	155	73.5	150	75.4
把握していない	35	16.6	30	15.1
わからない・判断できない	21	10.0	19	9.5

■貴団体の2019年度（団体の会計年度に基づくもの）の収入は
どのくらいですか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	150	100.0	144	100.0
10万円未満	2	1.3	1	0.7
10万円～50万円未満	1	0.7	1	0.7
50万円～100万円未満	1	0.7	1	0.7
100万円～500万円未満	16	10.7	16	11.1
500万円～1,000万円未満	21	14.0	20	13.9
1,000万円～5,000万円未満	40	26.7	39	27.1
5,000万円～1億円未満	17	11.3	17	11.8
1億円～5億円未満	20	13.3	20	13.9
5億円～10億円未満	0	0.0	0	0.0
10億円～50億円未満	5	3.3	5	3.5
50億円～100億円未満	4	2.7	4	2.8
100億円以上	1	0.7	1	0.7
わからない・判断できない	16	10.7	15	10.4
答えたくない	6	4.0	4	2.8

■その団体で、2019年度（団体の会計年度に基づくもの）に発生した収入として、あてはまるものを全て選択してください。（複数回答）※文化団体

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	128	100.0	125	100.0
【主に美術】 作品の販売からの収入	13	10.2	13	10.4
【主に美術】 展覧会・イベント等における作品展示からの収入	3	2.3	3	2.4
【主に舞台芸術】 公演のチケット収入及び作品の上演料	109	85.2	106	84.8
【主に舞台芸術】 物販（公演のDVD・グッズ等）収入	43	33.6	43	34.4
【主に舞台芸術】 会費収入	35	27.3	34	27.2
教育事業（スクール、ワークショップ等）からの収入	39	30.5	39	31.2
国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入	65	50.8	63	50.4
民間団体・個人等からの助成金・協賛金・寄付金等の収入	31	24.2	29	23.2
その他の収入	36	28.1	35	28.0
わからない・判断できない	0	0.0	0	0.0
答えたくない	0	0.0	0	0.0

■貴団体では、2017年度（平成29年度）以降、東京都や文化庁等の補助金・助成金・委託事業に申請されたことがありますか。（単一回答）※文化団体

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	155	100.0	150	100.0
【東京都・アーツカウンシル東京】 アートにエールを！東京プロジェクト	108	69.7	106	70.7
【〃】 東京芸術文化創造発信助成	12	7.7	11	7.3
【〃】 東京地域芸術文化助成	5	3.2	5	3.3
【〃】 芸術文化による社会支援助成	1	0.6	1	0.7
【〃】 Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成	12	7.7	10	6.7
【〃】 東京都・アーツカウンシル東京のその他の補助金・助成金・委託業務	20	12.9	19	12.7
【文化庁・日本芸術文化振興会】 ARTS for the future !	90	58.1	89	59.3
【〃】 日本芸術文化振興基金	42	27.1	40	26.7
【〃】 舞台芸術創造活動活性化事業	36	23.2	35	23.3
【〃】 国際芸術交流支援事業	11	7.1	10	6.7
【〃】 戦略的芸術文化創造推進事業	10	6.5	10	6.7
【〃】 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	9	5.8	9	6.0
【〃】 文化芸術による子供育成総合事業・伝統文化親子教室事業	18	11.6	17	11.3
【〃】 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業	2	1.3	2	1.3
【〃】 文化庁・日本芸術文化振興会のその他の補助金・助成金・委託業務	43	27.7	40	26.7
【経済産業省】 J-LODlive補助金	55	35.5	54	36.0
東京都以外の地方公共団体（市区町村や公的な財団等）の補助金・助成金・委託事業	14	9.0	11	7.3
国際交流基金の補助金・助成金・委託事業	10	6.5	9	6.0
民間企業・民間の財団の補助金・助成金・委託事業	29	18.7	26	17.3
上記のいずれも申請したことがない	9	5.8	9	6.0

■では、2017年度（平成29年度）以降、それらの補助金・助成金・委託事業に採択されたことはありますか。（単一回答）※文化団体

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	146	100.0	141	100.0
【東京都・アーツカウンシル東京】 アートにエールを！東京プロジェクト	100	68.5	98	69.5
【〃】 東京芸術文化創造発信助成	6	4.1	6	4.3
【〃】 東京地域芸術文化助成	3	2.1	3	2.1
【〃】 芸術文化による社会支援助成	0	0.0	0	0.0
【〃】 Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成	9	6.2	8	5.7
【〃】 東京都・アーツカウンシル東京のその他の補助金・助成金・委託業務	8	5.5	7	5.0
【文化庁・日本芸術文化振興会】 ARTS for the future !	82	56.2	81	57.4
【〃】 日本芸術文化振興基金	26	17.8	25	17.7
【〃】 舞台芸術創造活動活性化事業	33	22.6	32	22.7
【〃】 国際芸術交流支援事業	7	4.8	7	5.0
【〃】 戦略的芸術文化創造推進事業	8	5.5	8	5.7
【〃】 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	6	4.1	6	4.3
【〃】 文化芸術による子供育成総合事業・伝統文化親子教室事業	16	11.0	15	10.6
【〃】 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業	1	0.7	1	0.7
【〃】 文化庁・日本芸術文化振興会のその他の補助金・助成金・委託業務	40	27.4	37	26.2
【経済産業省】 J-LODlive補助金	50	34.2	49	34.8
東京都以外の地方公共団体（市区町村や公的な財団等）の補助金・助成金・委託事業	8	5.5	6	4.3
国際交流基金の補助金・助成金・委託事業	7	4.8	6	4.3
民間企業・民間の財団の補助金・助成金・委託事業	22	15.1	20	14.2
上記のいずれも採択されることがない	4	2.7	4	2.8

■あなたは、2017年度（平成29年度）以降、東京都や文化庁等の補助金・助成金・委託事業に申請されたことがありますか。（単一回答）※個人

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	959	100.0	905	100.0
【東京都・アーツカウンシル東京】 アートにエールを！東京プロジェクト	740	77.2	660	80.0
【〃】 東京芸術文化創造発信助成	27	2.8	20	2.4
【〃】 東京都・アーツカウンシル東京のその他の補助金・助成金・委託業務	73	7.6	65	7.9
【文化庁・日本芸術文化振興会】 ARTS for the future !	187	19.5	170	20.6
【〃】 日本芸術文化振興基金	48	5.0	40	4.8
【〃】 文化庁・日本芸術文化振興会のその他の補助金・助成金・委託業務	275	28.7	250	30.3
【経済産業省】 J-LODlive補助金	17	1.8	15	1.8
東京都以外の地方公共団体（市区町村や公的な財団等）の補助金・助成金・委託事業	111	11.6	96	11.6
国際交流基金の補助金・助成金・委託事業	20	2.1	19	2.3
民間企業・民間の財団の補助金・助成金・委託事業	82	8.6	69	8.4
上記のいずれも申請したことがない	111	11.6	80	9.7

■では、2017年度（平成29年度）以降、それらの補助金・助成金・委託事業に採択されたことはありますか。（単一回答）※個人

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	848	100.0	825	100.0
【東京都・アーツカウンシル東京】アートにエールを！東京プロジェクト	715	84.3	636	85.4
【〃】東京芸術文化創造発信助成	15	1.8	9	1.2
【〃】東京都・アーツカウンシル東京のその他の補助金・助成金・委託業務	32	3.8	28	3.8
【文化庁・日本芸術文化振興会】ARTS for the future！	159	18.8	142	19.1
【〃】日本芸術文化振興基金	27	3.2	23	3.1
【〃】文化庁・日本芸術文化振興会のその他の補助金・助成金・委託業務	260	30.7	235	31.5
【経済産業省】J-LODlive補助金	13	1.5	12	1.6
東京都以外の地方公共団体（市区町村や公的な財団等）の補助金・助成金・委託事業	89	10.5	76	10.2
国際交流基金の補助金・助成金・委託事業	10	1.2	9	1.2
民間企業・民間の財団の補助金・助成金・委託事業	52	6.1	43	5.8
上記のいずれも採択されることがない	23	2.7	20	2.7

■あなたご自身の一昨年（2019年）の年間の収入はどの位でしたか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,510	100.0	1,412	100.0
100万円未満	222	7.7	203	7.4
100万円～150万円未満	144	9.5	136	9.6
150万円～200万円未満	159	10.5	151	10.7
200万円～300万円未満	271	17.9	263	18.6
300万円～400万円未満	188	12.5	175	12.4
400万円～500万円未満	136	9.0	127	9.0
500万円～600万円未満	70	4.6	61	4.3
600万円～800万円未満	97	3.9	89	3.8
800万円～1,000万円未満	65	1.7	59	1.7
1,000万円～1,500万円未満	60	1.9	56	1.9
1,500万円以上	25	0.3	23	0.3
わからない・答えたくない	73	4.8	69	4.9

■あなたご自身の一昨年（2019年）の年間の芸術文化に係る活動からもたらされる収入はどの位でしたか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,437	100.0	1,343	100.0
50万円未満	262	18.2	246	18.3
50万円～100万円未満	202	14.1	190	14.1
100万円～150万円未満	158	11.0	145	10.8
150万円～200万円未満	122	8.5	116	8.6
200万円～300万円未満	203	14.1	193	14.4
300万円～400万円未満	124	8.6	114	8.5
400万円～500万円未満	109	7.6	103	7.7
500万円～600万円未満	58	4.0	52	3.9
600万円～700万円未満	40	2.8	38	2.8
700万円～900万円未満	45	3.1	41	3.1
900万円～1,100万円未満	46	3.2	41	3.1
1,100万円以上	41	2.9	39	2.9
わからない・答えたくない	27	1.9	25	1.9

■あなたの世帯の一昨年（2019年）の年間の収入はどの位でしたか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,120	100.0	1,047	100.0
200万円未満	126	1.1	118	1.0
200万円～300万円未満	96	8.6	92	8.8
300万円～400万円未満	118	10.5	109	10.4
400万円～500万円未満	117	10.4	112	10.7
500万円～600万円未満	92	8.2	83	7.9
600万円～800万円未満	111	5.6	103	5.6
800万円～1,000万円未満	110	3.8	103	3.9
1,000万円～1,500万円未満	99	3.2	90	3.0
1,500万円以上	55	1.3	50	1.2
わからない・答えたくない	196	17.5	187	17.9

■あなたご自身の現在の貯蓄額（預貯金・債券・株式・信託・貯蓄保険など）はどの位ですか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,510	100.0	1,412	100.0
50万円未満	323	21.4	296	21.0
50万円～100万円未満	135	8.9	131	9.3
100万円～200万円未満	148	9.8	142	10.1
200万円～300万円未満	102	6.8	95	6.7
300万円～400万円未満	70	4.6	65	4.6
400万円～500万円未満	71	4.7	65	4.6
500万円～600万円未満	51	3.4	45	3.2
600万円～700万円未満	61	1.7	56	1.6
800万円～900万円未満	50	0.7	47	0.7
1,000万円～1,200万円未満	109	3.5	104	3.7
2,000万円～2,500万円未満	91	1.2	85	1.1
わからない・答えたくない	299	19.8	281	19.9

■あなたは、あなたの世帯の生活の程度を世間一般と比較して、どのように認識していますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,510	100.0	1,412	100.0
上	25	1.7	22	1.6
中の上	142	9.4	137	9.7
中の中	368	24.4	347	24.6
中の下	425	28.1	391	27.7
下	379	25.1	353	25.0
わからない・判断できない・答えたくない	171	11.3	162	11.5

■あなたが、団体運営を行うにあたって、重視している事柄はどのようなものですか。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	174	100.0	165	100.0
人々への芸術文化の普及啓発	144	82.8	140	84.8
芸術文化の新たな表現の追求	127	73.0	124	75.2
好きな活動を行うこと	90	51.7	85	51.5
活動を継続すること	144	82.8	137	83.0
国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上	56	32.2	54	32.7
団体の知名度の向上	92	52.9	89	53.9
団体のコアなファンの拡大	77	44.3	73	44.2
収入・事業規模の拡大	107	61.5	105	63.6
利益の確保・拡大	92	52.9	89	53.9
収入源の多様化	70	40.2	66	40.0
他のアーティスト・芸術団体等との交流・連携	94	54.0	90	54.5
アーティスト・後継者の育成	104	59.8	100	60.6
技能の伝承	57	32.8	55	33.3
芸術文化による各種波及効果の創出（観光・産業、コミュニティ形成・共生社会の実現、福祉等）	60	34.5	57	34.5
あてはまるものはない	0	0.0	0	0.0

■あなたが、芸術文化に関する活動・仕事を行うにあたって、重視している事柄はどのようなものですか。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	885	100.0	808	100.0
人々への芸術文化の普及啓発	550	62.1	512	63.4
芸術文化の新たな表現の追求	575	65.0	533	66.0
好きな活動を行うこと	565	63.8	517	64.0
活動を継続すること	722	81.6	661	81.8
国内外の専門家・関係者による表現に関する評価の向上	253	28.6	234	29.0
あなた自身や作品・活動の知名度の向上	502	56.7	468	57.9
あなた自身や作品・活動のコアなファンの拡大	398	45.0	376	46.5
収入の拡大	536	60.6	512	63.4
利益の確保・拡大	412	46.6	385	47.6
収入源の多様化	351	39.7	333	41.2
他のアーティスト・芸術団体等との交流・連携	417	47.1	385	47.6
アーティスト・後継者の育成	340	38.4	325	40.2
技能の伝承	183	20.7	175	21.7
芸術文化による各種波及効果の創出（観光・産業、コミュニティ形成・共生社会の実現、福祉等）	264	29.8	247	30.6
あてはまるものはない	4	0.5	4	0.5

■貴団体では、今後の芸術文化に係る団体活動の継続についてどのようにお考えですか。（単一回答）

		全体	できるだけ継続したい	←	←	どちらともいえない	→	→	できるだけ継続したいとは思わない	わからない・判断できない
全サンプル	回答数	174	151	11	6	2	1	0	2	1
	%	100	86.8	6.3	3.4	1.1	0.6	0	1.1	0.6
評価対象	回答数	165	145	10	5	2	1	0	2	0
	%	100	87.9	6.1	3	1.2	0.6	0	1.2	0

■貴団体では、今後の芸術文化に係る活動の継続において金銭面が障害となっていますか。（単一回答）

		全体	なっている	←	←	どちらともいえない	→	→	なっていない	わからない・判断できない
全サンプル	回答数	174	109	33	12	12	2	1	4	1
	%	100	62.6	19	6.9	6.9	1.1	0.6	2.3	0.6
評価対象	回答数	165	102	31	12	12	2	1	4	1
	%	100	61.8	18.8	7.3	7.3	1.2	0.6	2.4	0.6

■あなた個人として、今後の芸術文化に係る活動の継続についてどのようにお考えですか。（単一回答）

		全体	できるだけ継続したい	←	←	どちらともいえない	→	→	できるだけ継続したいとは思わない	わからない・判断できない
全サンプル	回答数	1640	1406	85	52	57	7	8	18	7
	%	100	85.7	5.2	3.2	3.5	0.4	0.5	1.1	0.4
評価対象	回答数	1412	1222	67	44	47	6	5	14	7
	%	100	86.5	4.7	3.1	3.3	0.4	0.4	1	0.5

■あなた個人として、今後の芸術文化に係る活動の継続において金銭面が障害になっていますか。（単一回答）

		全体	なっている	←	←	どちらともいえない	→	→	なっていない	わからない・判断できない
全サンプル	回答数	174	109	33	12	12	2	1	4	1
	%	100	62.6	19	6.9	6.9	1.1	0.6	2.3	0.6
評価対象	回答数	165	102	31	12	12	2	1	4	1
	%	100	61.8	18.8	7.3	7.3	1.2	0.6	2.4	0.6

■あなたは、芸術文化の創作や実演を行う際の東京都の環境（創作・練習場所、発表場所の充実度等）について、どのように評価しますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,640	100.0	1,412	100.0
整っている	67	4.1	57	4.0
どちらかという整っている	527	32.1	458	32.4
どちらかという整っていない	443	27.0	382	27.1
整っていない	430	26.2	373	26.4
わからない・判断できない	173	10.5	142	10.1

■東京は国内外のアーティスト・芸術関係者が積極的に集まり、活動したいと思う場所となっていると思いますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,640	100.0	1,412	100.0
なっている	207	12.6	179	12.7
どちらかというとなっている	575	35.1	503	35.6
どちらかというとなっていない	386	23.5	327	23.2
なっていない	292	17.8	250	17.7
わからない・判断できない	180	11.0	153	10.8

■東京は国内外のアーティスト・芸術関係者同士がネットワーキングを行うための環境が整っていると思いますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,640	100.0	1,412	100.0
整っている	71	4.3	64	4.5
どちらかというと整っている	366	22.3	312	22.1
どちらかというと整っていない	504	30.7	445	31.5
整っていない	412	25.1	351	24.9
わからない・判断できない	287	17.5	240	17.0

■あなたの団体では、一般的なボランティアや専門的知識や技術を活かしたボランティア（プロボノ等）を受け入れたことがありますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	428	100.0	383	100.0
ある	119	27.8	103	26.9
ない	214	50.0	194	50.7
わからない・判断できない	95	22.2	86	22.5

■では、どのような業務において、一般的なボランティアや専門的知識や技術を活かしたボランティア（プロボノ等）を受け入れたことがありますか。（複数回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	119	100.0	103	100.0
作品の創作・実演	62	52.1	55	53.4
事業の当日運営	80	67.2	70	68.0
事業の運営に必要な専門業務（翻訳、写真撮影等）	40	33.6	34	33.0
団体運営に関する事柄（事業の運営方針の策定）	11	9.2	10	9.7
団体運営に関する事柄（会計・経理、助成金・補助金の申請）	16	13.4	14	13.6
あてはまるものはない	3	2.5	1	1.0

■あなたは、国・自治体の予算を「芸術文化の振興」に優先的に振り分けるべきだと考えますか。それとも振り分けるべきではないと考えますか。（単一回答）

	全サンプル		評価対象	
	回答数	%	回答数	%
全体	1,640	100.0	1,412	100.0
優先的に振り分けるべきである	739	45.1	645	45.7
どちらかというと優先的に振り分けるべきである	604	36.8	519	36.8
どちらかというと優先的に振り分けるべきではない	83	5.1	69	4.9
優先的に振り分けるべきではない	39	2.4	35	2.5
わからない・判断できない	175	10.7	144	10.2

6. 第7期 東京芸術文化評議会 評議員名簿

○東京芸術文化評議会は、文化振興のための施策を総合的かつ効果的に推進することを目的に、専門的な見地から調査審議するため、「東京都文化振興条例第17条」に基づき設置された知事の附属機関である。

令和2年6月1日現在

氏名	現職等
青柳 正規	東京大学名誉教授、多摩美術大学理事長、奈良県立橿原考古学研究所所長
秋元 康	作詞家、プロデューサー
浅葉 克己	アートディレクター、桑沢デザイン研究所所長
太下 義之	同志社大学教授、独立行政法人国立美術館理事
大野 和士	東京都交響楽団およびバルセロナ交響楽団音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督
片岡 真実	森美術館館長、国際美術館会議(CIMAM)会長
ロバート キャンベル	国文学研究資料館長
小山 薫堂	放送作家、脚本家、京都造形芸術大学副学長
田中 優子	法政大学総長
仲道 郁代	ピアニスト、一般財団法人地域創造理事、一般社団法人 音楽がヒラク未来 代表理事
蜷川 実花	写真家、映画監督
野田 秀樹	劇作家、演出家、役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学美術学部演劇舞踊デザイン学科教授
日比野 克彦	アーティスト、東京藝術大学美術学部長
松任谷 由実	シンガーソングライター

(五十音順・敬称略)

7. 第7期 東京芸術文化評議会 文化政策部会 専門委員名簿

氏名	現職等
太下 義之	同志社大学経済学部教授、独立行政法人国立美術館理事、東京芸術文化評議会評議員
片山 泰輔	静岡文化芸術大学文化政策学部 教授
河島 伸子	同志社大学経済学部 教授
草加 叔也	有限会社 空間創造研究所 代表
久野 敦子	公益財団法人 セゾン文化財団 プログラムディレクター
日沼 禎子	女子美術大学芸術学部 教授
大和 滋	公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 参与
吉本 光宏	株式会社 ニッセイ基礎研究所 研究理事、東京芸術文化評議会 評議員

(五十音順・敬称略)

8. 第8期 東京芸術文化評議会 評議員名簿

令和3年6月1日現在

氏名	現職等
青柳 正規	東京大学名誉教授、多摩美術大学理事長、奈良県立橿原考古学研究所所長
秋元 康	作詞家、プロデューサー
大野 和士	東京都交響楽団およびバルセロナ交響楽団音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督
片岡 真実	森美術館館長、国際美術館会議(CIMAM)会長
ロバート キャンベル	早稲田大学特命教授
コシノ ヒロコ	ファッションデザイナー、神戸ファッション美術館名誉館長
小山 薫堂	放送作家、脚本家、京都造形芸術大学副学長
妹島 和世	建築家
芹澤 ゆう	株式会社フォルマ代表取締役社長
田中 優子	法政大学名誉教授、法政大学江戸東京研究センター特任教授
仲道 郁代	ピアニスト、一般財団法人地域創造理事、一般社団法人音楽がヒラク未来 代表理事
蜷川 実花	写真家、映画監督
野田 秀樹	劇作家、演出家、役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科教授
日比野 克彦	アーティスト、東京藝術大学美術学部長

(五十音順・敬称略)

9. 第8期 東京芸術文化評議会 文化政策部会 専門委員名簿

氏名	現職等
片岡 真実	森美術館館長、国際美術館会議(CIMAM)会長、東京芸術文化評議会 評議員
片山 泰輔	静岡文化芸術大学文化政策学部 教授
河島 伸子	同志社大学経済学部 教授
塩見 有子	NPO法人 アーツイニシアティブトウキョウ理事長
杉浦 太一	株式会社CINRA 代表取締役、株式会社Inspire High 代表取締役
草加 叔也	有限会社 空間創造研究所 代表
久野 敦子	公益財団法人 セゾン文化財団 常務理事
日沼 禎子	女子美術大学芸術学部 教授
大和 滋	公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 参与
寄本 健	東急株式会社 沿線生活創造事業部エンターテインメント戦略グループ 課長

(五十音順・敬称略)

10. 「東京文化戦略 2030」の策定に係る文化政策部会における議論

- 東京都文化振興条例第 17 条第 7 項では、東京芸術文化評議会（以下「評議会」という。）において、「特定の事項を調査審議するため必要があると認めるときは、専門委員又は部会を置くとともに、関係者から意見を聴くことができる。」と規定している。
- 本条項で定める部会は、知事が任命する専門委員の中から評議会会長が指名する専門委員をもって構成することになっており、東京 2020 大会の開催以降をも見据え、中長期的な視点を持って都の文化政策の方向性について議論するため、文化政策部会が設置されている。
- 文化政策部会では、「東京文化戦略 2030」（以下「文化戦略」という。）について、以下の経過のとおり議論を行った。

時 期		経 過
2019 年 12 月	第 7 期	第 5 回文化政策部会において、都の文化政策の今後の方向性について議論
2020 年 10 月	第 7 期	第 6 回文化政策部会において、文化戦略の考え方や概要などを整理
2020 年 12 月	第 7 期	第 7 回文化政策部会において、文化戦略における 4 つの戦略や重点手法、「東京文化ビジョン」の総括について議論
2021 年 3 月	第 7 期	第 8 回文化政策部会において、第 7 回文化政策部会での議論を踏まえて修正した 4 つの戦略や重点手法について議論
2021 年 9 月	第 8 期	第 9 回文化政策部会において、文化戦略の部会案を議論
2021 年 11 月	第 8 期	第 10 回文化政策部会において、文化戦略の部会案を議論
2021 年 12 月	第 8 期	第 11 回文化政策部会において、部会案及び第 32 回評議会への報告資料をとりまとめ